ウィキペディア

日本における2019年コロナウイルス感染症の流行状況

出典: フリー百科事典『ウィキペディア（Wikipedia）』

新型コロナウイルス感染症の世界的流行 > 国・地域毎の新型コロナウイルス感染症流行状況 > アジアにおける新型コロナウイルス感染症の流行状況 > **日本における新型コロナウイルス感染症の流行状況**

この記事は最新の出来事を記載しています。情報は出来事の進行によって急速に変更される可能性があります。（2020年2月）

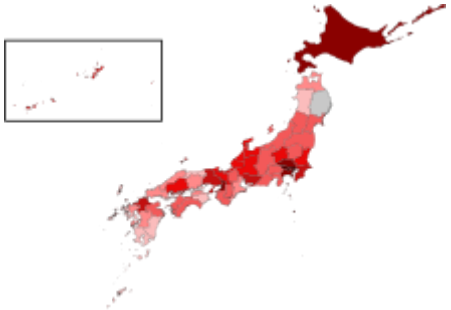
ウィキペディアは出典のある情報「のみ」を提供しています。情報源がないものは匿名編集者が個人的・勝手な憶測を記載していると見なされ、即座に本文から除去されます。また、感染者の人数などのデータを更新する際に、参考資料の更新も同時に行ってください。

日本における2019年コロナウイルス感染症の流行状況では、日本における新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の流行状況について述べる。

2020年1月16日、日本国内初の感染者として、中国武漢への渡航歴のある神奈川県在住の30代の中国籍の男性が報告された[2]。3月1日、厚生労働省はこれまでの**集団感染**事例にスポーツジム、屋形船、ビュッフェスタイルの会食、雀荘などがあったとし、「換気の悪い密集空間」（3つの密も参照）に行くことを避けるよう勧告した[3]。4月3日には 国内感染者が3,000人を超え[4]、5月3日には 国内感染者が15,000人を超えた[5]。

日本では、人口全体を正確に反映する計画的な検査は行われておらず、5月2日に神戸市立医療センター中央市民病院の研究チームの発表によれば、4月7日までの8日間に外来を受診した患者、1,000人の血液を検査したところ、2.7%が新型コロナウイルスに感染したことを示す抗体を持っていた。これは、約150万人の神戸市民のうち、41,000人に感染歴があったことになる[6]。

日本における新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の流行状況



感染者が確認された都道府県（適宜更新）

感染者数:

- 5001+
- 1001-5000
- 501-1000
- 101-500
- 51-100

目次

略年譜

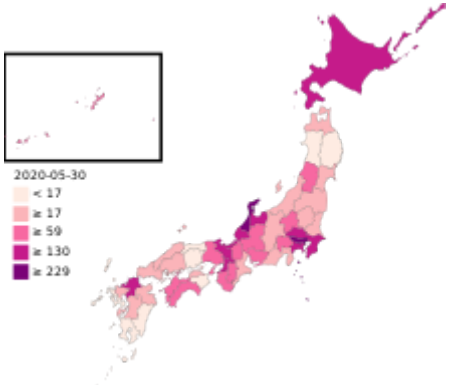
- 2020年
  - 1月
  - 2月
  - 3月
  - 4月
  - 5月

統計

集団感染（クラスター）

- 厚生労働省の勧告
- クラスター発生事例
  - 病院 (院内感染)
    - 関東
    - 中部
    - 関西
    - 九州
  - 介護福祉施設
  - スポーツ関連
    - スポーツジム
    - 卓球スクール
    - 武道館 （剣道）
  - 音楽・ライブ関連
    - ライブハウス・ライブバー
    - 合唱団
    - 和太鼓グループ
  - 酒場・飲食店

21-50
1-20
確定症例なし



100万人あたりの感染者数（適宜更新）

疾病	新型コロナウイルス感染症 (COVID-19)
ウイルス株	2019新型コロナウイルス (SARS-CoV-2)
最初の発生	中華人民共和国湖北省武漢市
場所	日本
初発症例	神奈川県
出現した日付	2020年1月16日
確定症例数	16912人[1]
重篤症例数	119人[1]
回復者数	14459人[1]
死者数	897人[1]

屋台（さっぽろ雪まつり）
屋形船
ナイトクラブ
英国風パブ
大学の送別会
その他
住宅設備展示会
美容室
クラスター対策の評価と課題

行政の対応

検査体制

検査体制・保険適用の推移
検査体制への批判
医師会
医師の批判
研究者の批判
野党による批判
アメリカ大使館・在日米軍
批判への反論
国立感染症研究所・厚生労働省の反応
新型コロナウイルス感染症対策専門家会議
疑似症報告制度
検査制限
届け出

ダイヤモンドプリンセス集団感染への対応

社会・経済への影響

その他

緊急事態宣言

学会の見解

自宅療養

感染が公表された著名人

スポーツ

芸能

音楽

マスコミ

政治

経済

学者・教育

脚注

注釈

出典

参考文献

関連項目

外部リンク

略年譜

詳細は「日本における2019年コロナウイルス感染症の流行のタイムライン」を参照

2020年

1月

- 1月16日、中国武漢への渡航歴のある神奈川県在住の30代の中国籍の男性が感染していたことが報告された（国内初の感染者）[2]。

2月

- 2月13日 - 国内で初の死者が発生[7]。
- 2月21日 - 国内感染者が100人を超えた[8]。

3月

- 3月21日 - 国内感染者数が1,000人を超えた[9]。
- 3月24日 - 国際オリンピック委員会（IOC）と東京2020組織委員会は、東京2020大会の延期を発表[10]。
- 3月27日 - 国内感染者が1日当たりで100人を超えた[11]。

4月

- 4月3日 - 国内感染者が3,000人を超えた[12]。
- 4月7日 - 埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、大阪府、兵庫県、福岡県の7都府県に対し5月6日までの**緊急事態宣言**が発令された[13]。
- 4月8日 - 国内感染者が1日当たりで500人を超えた[14]。
- 4月11日 - 国内感染者が1日当たりで743人を超えた[15]。これは1日に確認された数としてはこれまでで最も多い人数となる。
- 4月12日 - 国内死者が100人を超えた[16]。
- 4月16日 - 全都道府県に対し緊急事態宣言が発令された[17]。
- 4月18日 - 国内感染者が10,000人を超えた[18]。
- 4月22日 - 国内死者が200人を超えた[19]。
- 4月25日 - 東京都内の死者が100人を超えた[20]。

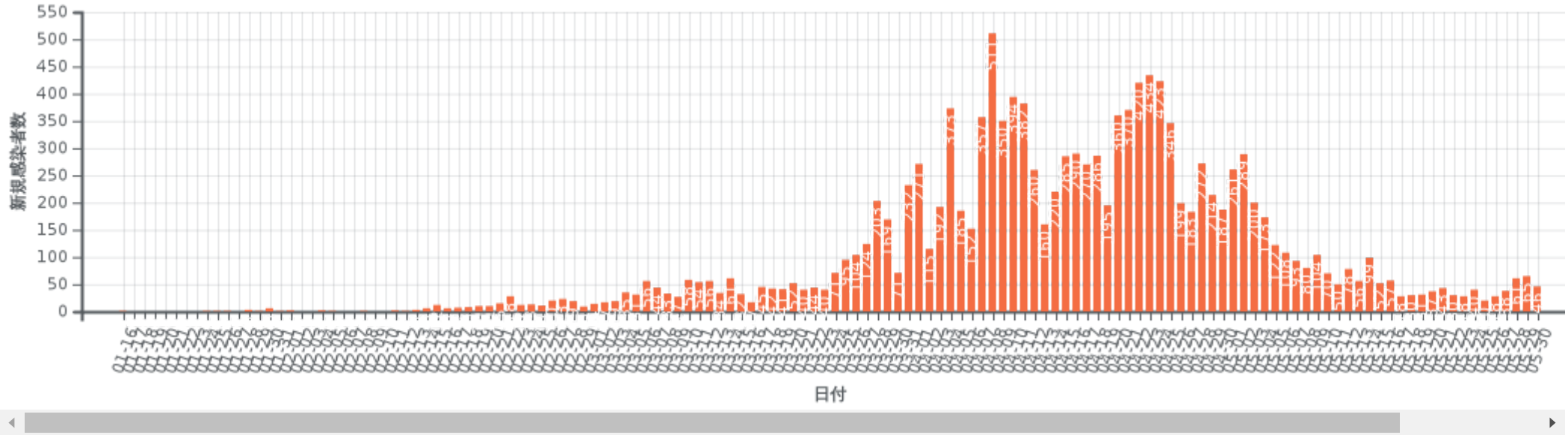
5月

- 5月2日 - 国内死者が500人を超えた[21]。
- 5月3日 - 国内感染者が15,000人を超えた[22]。
- 5月4日 - 安倍首相が緊急事態宣言の5月31日までの延長を発表[23]。
- 5月14日 - 政府が全国39県の緊急事態宣言を解除[24]。
- 5月21日 - 政府が兵庫県･大阪府･京都府の3府県の緊急事態宣言を解除。東京都・神奈川県・埼玉県・千葉県・北海道は宣言を継続し、解除するかを25日に再検討する[25]。
- 5月22日 - 国内死者が800人を超えた[26]。
- 5月25日 - 政府は残る東京都・神奈川県・埼玉県・千葉県・北海道の5都道県に対する緊急事態宣言を解除した[27]。
- 5月29日 - 東京都内の死者が300人を超えた[28]。

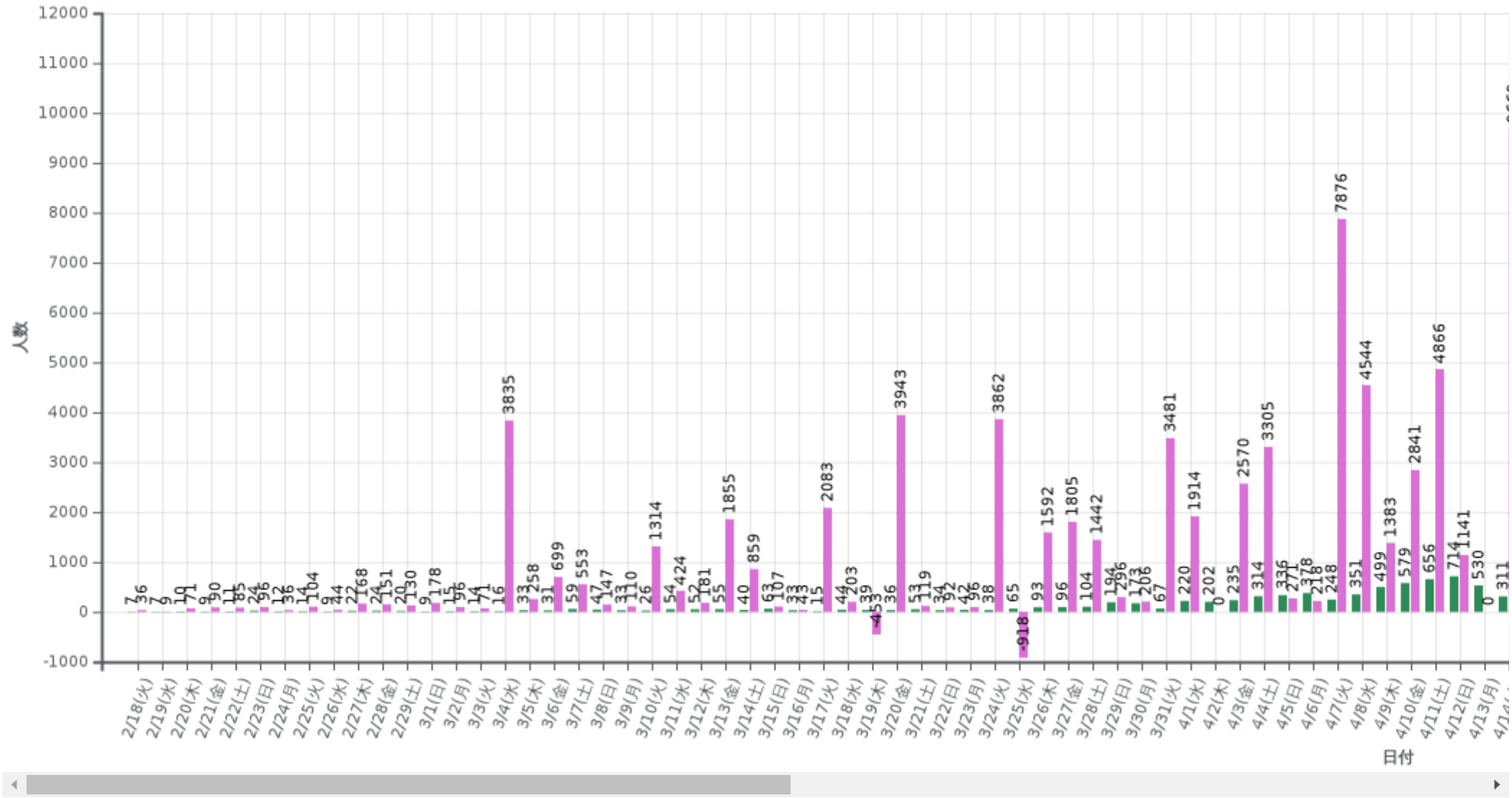
統計

「国内の累積感染者数の推移グラフ」、「国内のPCR検査の累積実施数の推移表」、および「都道府県別の感染者数の推移表」も参照

- 新規感染者数の推移（報告日基準、国内事例のみ）[29]



- 日本のPCR検査実施人数と新規陽性者数の推移のグラフ（国内事例のみ）



新型コロナウイルス感染症対策専門家会議の状況分析によると、1日の新規感染者数は4月22日時点で455人に上り、4月20日には累積感染者数が10,200人を超えた[30]。特に重点的に感染拡大防止策がとられる13の特定警戒都道府県（北海道、茨城県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、

石川県、岐阜県、愛知県、京都府、大阪府、兵庫県及び福岡県）における増加が全体の7割強を占め、このうち感染経路が不明な患者数の割合が約8割に上った[30]。また、3月23日頃には4割近くを占めていた海外からの感染に起因したと考えられる国内症例の割合は、4月に入ってからの約3週間で0.65%程度にまで低下した[30]。

各都道府県の累積感染者・死亡者・退院者等の数は下表で示される。

日本国内の新型コロナウイルス感染確認事例数（ ）[31][32]

2020年5月31日20:35時点、外国籍の者や国籍確認中の者を含む

都道府県 / 分類	感染	死亡	退院等	備考・参考資料	内訳
合計（全体）	**16912**	**897**	**14470**	[注 1]	
北海道	1091	86	810	[33]	北海道
青森県	27	1	25	[34]	青森県
宮城県	88	1	87	[注 2][36]	宮城県
秋田県	16		16	[注 3][38]	秋田県
山形県	69		66	[39]	山形県
福島県	81		75	[注 4][41]	福島県
茨城県	168	10	131	[42]	茨城県
栃木県	65		49	[注 5][44]	栃木県
群馬県	149	19	118	[45]	群馬県
埼玉県	1000	48	888	[注 6][48]	埼玉県
千葉県	902	45	807	[注 7][50]	千葉県
東京都	5236	305	4510	[注 8][52]	東京都
神奈川県	1367	86	1061	[注 9][53]	神奈川県
新潟県	82		77	[54]	新潟県
富山県	227	22	189	[55]	富山県
石川県	298	25	219	[56]	石川県
福井県	122	8	110	[57]	福井県
山梨県	64	1	59	[58]	山梨県

都道府県 / 分類	感染	死亡	退院等	備考・参考資料	内訳
長野県	76		69	[59]	長野県
岐阜県	150	7	141	[60]	岐阜県
静岡県	76	1	72	[注 10][62]	静岡県
愛知県	511	34	456	[63]	愛知県
三重県	45	1	44	[注 11][65]	三重県
滋賀県	100	1	91	[66]	滋賀県
京都府	358	17	324	[67]	京都府
大阪府	1783	83	1565	[68]	大阪府
兵庫県	699	42	626	[69]	兵庫県
奈良県	92	2	88	[注 12][71]	奈良県
和歌山県	63	3	57	[72]	和歌山県
鳥取県	3		3	[73]	鳥取県
島根県	24		22	[74]	島根県
岡山県	25		25	[75]	岡山県
広島県	167	3	153	[76]	広島県
山口県	37		35	[77]	山口県
徳島県	5	1	4	[注 13][79]	徳島県
香川県	28		28	[80]	香川県
愛媛県	82	4	50	[81]	愛媛県
高知県	74	3	71	[82]	高知県
福岡県	758	27	620	[83]	福岡県
佐賀県	47		37	[84]	佐賀県

都道府県 / 分類	感染	死亡	退院等	備考・参考資料	内訳
長崎県	17	1	16	[注 14][85]	長崎県
熊本県	48	3	43	[86]	熊本県
大分県	60	1	58	[87]	大分県
宮崎県	17		17	[88]	宮崎県
鹿児島県	10		10	[89]	鹿児島県
沖縄県	142	6	133	[90]	沖縄県
チャーター便帰国者	14		14	[注 15]	
検疫官・国職員・空港検疫	200		154		空港検疫
コスタ・アトランチカ号	149		147	[85]	

集団感染（クラスター)

「新型コロナウイルス感染症(2019年)#集団感染・スーパー・スプレッダー」、「スーパー・スプレッダー」、および「集団免疫」も参照

厚生労働省の勧告

集団感染におけるクラスターとは、感染経路が追えている数人から数十人規模の患者の集団のことである[3]。

厚生労働省は2020年3月1日、これまでの集団感染事例にスポーツジム、屋形船、ビュッフェスタイルの会食、雀荘、スキーのゲストハウス、密閉された仮設テントなどがあったとし、**換気が悪く、人が密集して過ごす空間、不特定多数の人が接触する場所に行くことを避ける**よう勧告した[3]。

3月3日、共同通信は、独自の集計で日本における新型コロナウイルスの集団感染（クラスター）が全国で9件発生し、ここからつながりのある感染者数が80人以上になると報道した[92]。これは調査対象となった感染者260人のうち約30%を占める[92]。この調査では、1カ所で4人以上が感染したとみられる事例をクラスターとした[92]。

3月15日、厚生労働省はクラスター全15箇所の地図を公開した[93]。

> 「新型コロナウイルスに関するQ&A 問14 集団感染を防ぐためにはどうすればよいでしょうか？ (https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryou/dengue_fever_qa_00001.html#Q14)」厚生労働省、令和2年3月7日

クラスター発生事例

病院 (院内感染)

2020年2月以降、各地の病院で集団感染が起こった。以下では院内感染だけでなく、病院および介護施設での感染事例も扱う。

4月21日時点で医療機関で感染した疑いがある医療従事者や患者は感染者数の1割近くに達した[94]。

関東

- 牧田総合病院（東京都大田区）では、看護師と医師が新型コロナウイルスに感染し2月17日から約2週間、外来を休診した[95]。
- 相模原中央病院で感染患者が死亡後にその担当看護師が感染したことが2月16日に発覚し、また他の入院患者への感染が発覚し、2月17日より外来診療を休診とした[96]。2月18日には病院の職員や関係者や家族が日常生活で差別的な扱いを受けていると報告され、看護師が子供を保育施設に預けようとしたところ「しばらくは遠慮してもらえないか」と受け入れを拒否されたり、看護師の家族が勤務する会社で出勤しないよう求められたり、他の医療機関からの医師の派遣や患者の転院も断られるなどした[96]。3月3日、相模原中央病院はかかりつけ患者に限って一部再開した[97]。
- 相模原協同病院で3月6日、医師の感染が確認された[98]。
- 東京都台東区で区内最大規模の永寿総合病院で3月24日から、入院患者や看護師十数人の感染が発覚し[99][100][101]、4月4日までに同病院の感染者は計140人、死者9人となった[102]。
  詳細は「ライフ・エクステンション研究所付属永寿総合病院#新型コロナウイルス感染」を参照
- 慶應義塾大学病院でも3月26日に患者3人の感染が判明した[103]。永寿総合病院から19日に転院してきた感染者と同じ病室に入院しており、院内感染とみられる[103]。
- 中野江古田病院では4月13日までに、患者と医師を含む合計92人の感染が判明した[104]。5月2日には患者11人の死亡が確認された[105]。

中部

- 富山市民病院（富山県富山市）では、4月9日の同病院勤務の女性看護師の感染確認を切っ掛けに、12日までに16人の院内感染を確認。同院長は、「クラスターが発生したという予測の元に感染拡大の防止に取り組んでいる」とコメントし、今後1週間は外来診療、救急患者の受け入れ、手術（緊急手術を除く）を休止するとしている[106]。5月7日に外来診療を再開。5月30日時点での感染者数は39人となっている[107]。

関西

- 大阪府東大阪市の医療法人清和会ながはら病院で2月29日、職員の感染が確認され、外来診察とデイケアサービスを休止した[108]。
- 和歌山県湯浅町の済生会有田病院でもクラスター感染が発生し、医師、入院患者とその家族10人以上が感染した[92]。3月4日、診療再開した[109]。
- 市立福知山市民病院（京都府福知山市）で3月7日夜、介護福祉士の感染が確認され、一部病棟を閉鎖し、救急・外来診療を休診した[110]。
- 国立循環器病研究センター（大阪府吹田市）で3月9日、看護師の感染が確認され、3月13日まで外来を休診した[111]。
- 兵庫県姫路市野里の仁恵病院で3月10日、看護師と患者の感染が確認され、院内感染の可能性が調査されている[112]。

九州

- 国立病院機構大分医療センターで3月19日、大分県内で検査陽性となった男性の濃厚接触者とされる、同院入院中の妻に感染が確認[113][114]。3月25日の濃厚接触全者全員のPCR検査が終了した段階で、職員や、入院患者、同院から転院した患者、転院先の1つである大分県立病院の看護師など、24名に検査陽性が確認された[114]。大分県・大分市だけではPCR検査が追い付かず、他県の地方衛生研究所等に依頼するなど対応を行った。
- 福岡記念病院（早良区）で職員、入院患者など院内感染者は4月11日までに計24人となった[115]。

介護福祉施設

- 伊丹市のデイケア施設「グリーンアルス伊丹」で2020年3月7日から10日にかけて、職員と利用者の感染が確認され、クラスター（感染者集団）が発生している可能性があるとされた[116]。
- 3月5日、熊本県玉名市の介護老人保健施設「樹心台」で職員の感染が確認され、デイケアサービスの受け入れを中止した[117]。職員は集団感染が発生した大阪のライブハウスArcに2月15日・16日訪れていた[117]。
- 3月11日には愛知県で名古屋市を中心に2つの感染者集団（クラスター）があり、スポーツクラブ（感染36人）と福祉施設（感染45人、緑区デイサービス[118]）の2箇所で、県内感染者のほとんどの81人にのぼり、このうち福祉施設での感染が拡大していると発表された[119]。

- 3月28日、千葉県香取郡東庄町の障害者福祉施設「北総育成園」で57人の感染が判明した[120]。職員31人、利用者26人で、無症状も含まれる[121]。県は感染者の病院への搬送は困難と判断し、同施設内で診療することにした[122]。29日感染者は合計86人となった[122]。
- 福岡県博多区の介護老人保健施設「楽陽園」で4月11日までに感染者は計16人になった[115]。
- 富山県の介護老人保健施設「富山リハビリテーションホーム」でクラスター（感染者集団）が発生した[123]。5月30日時点での感染者数は59人[107]。

グループホーム

- 4月8日、横浜市のグループホームで6人のクラスター（感染者集団）が発生した[124]。
- 4月8日、北海道千歳市のグループホームで2人のクラスター（感染者集団）が発生した[125]。

スポーツ関連

スポーツジム

「愛知県における2019年コロナウイルス感染症の流行」および「千葉県における2019年コロナウイルス感染症の流行」も参照

名古屋市のスポーツジムで9人が感染する集団感染が起き、千葉県市川市でもフィットネスクラブの利用者4人の感染が起こった[92][126]。

名古屋のスポーツジムで感染を拡大させたハワイから帰国した女性 (60代) の感染が判明したのは2020年2月15日で、スポーツジムで14人が感染、うち一人から別の場所で別の一人に感染したのが2月16日だった[127]。このことから、名古屋市が2月15日の時点で、スポーツジムの詳細を公表し注意を呼び掛けていれば感染は防げていた可能性もあると指摘された[127]。その後3月8日には、スポーツジムでの感染者からその家族などへ感染し、別の場所などで感染し、一方、緑区のデイサービス施設でも集団感染が起こったことが分かった[118]。3月11日までに名古屋のスポーツジムからの集団感染者は45人となった[119]。

卓球スクール

新潟市の卓球スクールで集団感染が発生し、2020年3月9日までに8人の感染が確認、うち7人は卓球スクールや卓球大会などに参加し、1人はその家族だった[128]。3月10日に新たに3人の感染が確認され、うち2人は卓球スクール関係者だった[128]。

武道館 （剣道）

「愛知県における2019年コロナウイルス感染症の流行」も参照

愛知県警でクラスターが発生し、2020年4月8日までに警察官24人の感染が確認され、うち17人は1月から3月末まで愛知県武道館で剣道の稽古をしており、65人が参加していた[129]。一緒に稽古していた大学生2人も感染し、また警察官の家族への感染が確認された[129]。

愛知県警は、感染者と接触した可能性がある96人の警察官に対して自宅待機の措置を取った[129]。

音楽・ライブ関連

ライブハウス・ライブバー

大阪

「大阪府における2019年コロナウイルス感染症の流行」も参照

2020年3月4日、大阪府で新たに9人の感染者が確認された[130]。このうち3人の感染者は、集団感染が疑われている大阪市都島区のライブハウス「大阪京橋ライブハウスArc」[131][132]で開催されたコンサートに行っていたことが判明。ライブハウスにいて感染が確認された2人は高知県と愛媛県から訪れていた[133][92]。

また、大阪市北区にあるライブハウス「Soap opera classics」[131][134]でも4人の感染者が確認され、新たな集団感染となった[135]。

札幌

「北海道における2019年コロナウイルス感染症の流行」も参照

2020年3月7日、札幌市中央区ススキノのライブバーで従業員3人と客2人の感染が確認され、集団感染の可能性について調査がされた[136]。3月12日までにこのライブバーに関係する感染者は計16人となった[137]。同バーは約40平方メートルの小規模な店舗で1日3回ライブショーの合間に客がカラオケを楽しむ形態で、中高年の常連客が多かった[137]。札幌市は「歌うことで飛沫が出る。換気の良くない場所」で、感染リスクが高い場所だったと説明した[137]。

東京

「東京都における2019年コロナウイルス感染症の流行」も参照

東京都渋谷区のライブハウスLOFT HEAVENで2020年3月20日に開かれたイベントの出演者・参加者とその家族の感染が4月5日までに複数確認された[138]。

合唱団

「岐阜県における2019年コロナウイルス感染症の流行」も参照

岐阜県可児市の合唱団やスポーツジムで集団感染が発生した[139]。可児市の2つの合唱団で2020年3月22日に最初の感染が確認され、27日までに7人が陽性だった[140]。2月16日に美濃市文化会館で開かれた「中濃合唱祭」にはこの合唱サークルを含む29団体、約550人が参加しており、調査している[139]。

和太鼓グループ

2020年4月8日までに大分県竹田市の和太鼓演奏グループDRUM TAOの社員5人の感染がわかり、クラスター扱いとされる[141][142]。この運営会社では55人が共同生活を送り、4月3日に社員20人が福岡の顧客と会食をしており、この顧客も感染が判明している[142]。

酒場・飲食店

屋台（さっぽろ雪まつり）

「北海道における2019年コロナウイルス感染症の流行」も参照

国内外から約200万人の観光客が訪れたさっぽろ雪まつり（2020年1月31日-2月11日）を訪れた人の感染が北海道内だけでなく、千葉県や熊本県でも報告された[92]。会場のテント内などで濃厚接触し、感染が広がった可能性があると指摘されている[143]。東北大学の押谷仁教授は、多数の屋台がビニールハウスやプレハブ小屋で出店しており、「人が密集する閉鎖空間で食事をしている中に感染者がいれば、ウイルスは拡散しやすい」と指摘している[143]。

屋形船

「東京都における2019年コロナウイルス感染症の流行」も参照

東京都では、2020年1月18日に屋形船での新年会に参加した12人が感染した[92][144]。

ナイトクラブ

「岐阜県における2019年コロナウイルス感染症の流行」も参照

岐阜市の歓楽街柳ヶ瀬のナイトクラブ「シャルム」でクラスター（感染集団）が発生し、関係する感染者は2020年3月31日から4月8日までに34人となった[145]。のぞみの丘ホスピタルや岐阜大学病院の精神科医師3人が、3月26日に同店を利用し、4日に感染が判明したため岐阜大学病院は謝罪、4月19日まで外来診療をやめた[129][146]。また金沢市の岡部病院の医師一名も同店を利用しており、そこから4人の院内感染が発生した[145]。入居ビルの別の飲食店を利用した客の感染も判明しており、エレベーターが感染経路となった可能性も指摘された[145]。

英国風パブ

2020年4月1日、仙台の英国風パブ「HUB仙台一番町四丁目店」で9人の感染が確認され、クラスターが発生した[147]。同店利用者の山形県の家族2名に感染が確認された[148]。

大学の送別会

京都産業大学の関係者を中心とする集団感染が発生した[149]。2020年3月29日、男子学生5人の感染が確認された[150]。うち4人はヨーロッパへの卒業旅行から帰国した学生であり、うち3人の感染が確認された[151]。また、ゼミの送別会の参加者31人のうち14人の感染も確認された[150][151]。京都産業大学は31日に22人の学生を含む32人の集団感染が確認されていると発表し[149]、京都市は4月8日までに合計60人のクラスターが発生したと発表した[152]。

4月8日までに京都産業大学に抗議の電話やメールが数百件寄せられ、中には殺害や放火予告を表明するものもあったという[152][153]。また、京産大生が飲食店の入店を断られたり、アルバイトをクビになった事案もあったという[153]。

その他

住宅設備展示会

「北海道における2019年コロナウイルス感染症の流行」も参照

北海道北見市で2020年2月14日と15日に開かれた住宅設備の展示会では10人が感染した[92]。

美容室

「福岡県における2019年コロナウイルス感染症の流行」も参照

福岡県豊前市の美容室で6人の感染が2020年4月に発覚し、県内5例目のクラスターとなった[115]。福岡県は「換気が不十分だった可能性など個別の条件が考えられる。この一例をもって美容院の感染リスクが高いとは言えない」と発表した[154]。

クラスター対策の評価と課題

WHOのテドロス事務局長は2020年3月13日、日本が「クラスター（患者集団）の早期発見・早期対応」という戦略をとって様々な取組を進めてきたことを高く評価した[155][156][157][158]。

3月19日の新型コロナウイルス感染症対策専門家会議報告では、諸外国では数百~数千人の感染者数になるまで介入されなかったことが死亡者数の急増を引き起こしたのに対して、日本では少人数のクラスターから把握したために、感染症を一定の制御下に置くことができたとされた[155]。

しかし、同報告では、日本のクラスター対策体制には、クラスター対策を指揮できる専門家が少なく、保健所における労務負担が過重でクラスター対策に人員を割けないことなど課題があるとされた[155]。

行政の対応

「2019年コロナウイルス感染症の流行に対する日本の行政の対応」を参照

検査体制

「COVID-19の検査#日本の検査体制」および「日本国内のPCR検査の累計実施数の推移表」も参照

検査体制・保険適用の推移

この節の加筆 (https://ja.wikipedia.org/w/index.php?title=%E6%97%A5%E6%9C%AC%E3%81%AB%E3%81%8A%E3%81%91%E3%82%8B2019%E5%B9%B4%E3%82%B3%E3%83%AD%E3%83%8A%E3%82%A6%E3%82%A4%E3%83%AB%E3%82%B9%E6%84%9F%E6%9F%93%E7%97%87%E3%81%AE%E6%B5%81%E8%A1%8C%E7%8A%B6%E6%B3%81&action=edit)が望まれています。

- 2020年2月10日、国立感染症研究所の脇田隆字所長は抗体などを迅速に調べる検査法を数か月以内に完成させたいと語った[159]。

> 軽症の人がほとんどで、感染者が移動することも多いため、国内でも感染が広がる可能性がある。 症状のある人を診断して治療することが重要だ。抗体などを迅速に調べる検査法を数か月以内に完成させたい。
>
> — *国立感染症研究所所長・脇田隆字*[159]

- 厚生労働省は2020年3月4日付の通達で3月6日(金)からPCR検査（SARS-CoV-2核酸検出）について保険適用を認める旨連絡した[160]。
- 2020年4月24日、厚生労働省は症状がない患者へのPCR検査にも公的医療保険を適用する方針を表明した[161]。
- PCR検査の実施や、検査結果の判明までに、時間がかかっている例が存在する。大阪府では5月3日時点、保健所がPCR検査が必要だと判断してから実際に検査をするまでに最長10日程度かかっていることが判明した。待機中に容態が急変し入院したケースもある[162]。また、日経新聞の報道によれば、症状が出てから検査で陽性と確定するまでの期間は、4月18日時点で7.3日である[163]。東京23区の保健所に、検査が必要と判断してから実際に実施するまでの時間を聞いたところ、長い場合で「4, 5日程度」掛かっていると回答した区が複数あることが分かった[164]。

検査体制への批判

厚生労働省は2月18日、1日に最大3,800人の検査ができる体制を整備したと発表した[165]。 しかし、2月18日から2月24日の間に実施されたPCR検査件数は約6,300件で、1日平均約900件だったことが各界から批判された[166]。

1月17日から2月26日までの検査数は地域によって大きな開きがあり、神奈川県811件、東京都704件、和歌山県609件、千葉県300件、愛知県182件、一方、徳島県14件、群馬県13件、青森県12件、高知県7件、岩手県4件であった[167][168]。東北医科薬科大学の賀来満夫教授は「検査の件数は感染者数や保健所のマンパワーなどによってどうしても地域で偏りが出てくる。和歌山の検査を大阪が協力したように、検査が比較的少ない地域が代わりに行うなど日本全体で協力しあっていく必要がある。そのためには国が率先して協力体制を整えてほしい」と話した[167]。

5月2日には、神戸市立医療センター中央市民病院で4月7日までの8日間に同病院を受診した外来患者1000人の血液を検査したところ、33人（3.3%）から新型コロナウイルス感染後にできる抗体が検出されたと発表された。男性489人、女性511人の無作為抽出で、内訳は30代から80代の男性16人、女性17人であった。同病院の研究チームはこの結果から、緊急事態宣言が出る4月7日以前に、神戸市内ですでに2.7%に当たる約4万人に感染歴があったと推定し、PCR検査によって発表された感染者数の数百倍が感染していた可能性があるとしている[169]。

久住英二鉄医会理事長は、一度に多くの検体を処理でき遺伝子の抽出など一連の工程を自動で行える検査機器を日本は十分に備えていなかった。今は世界で争奪戦になっており買えなくなってきている。見逃された軽症者が普段通りに生活し感染を広げているのではないか[170]と批判している。

2019年コロナウィルス感染症が指定感染症に指定されているため感染症指定医療機関以外の医療機関が検体の採取を行うことができず、検査体制強化の障害になっているとする指摘がある。

医師会

2月27日に東京都医師会は、PCR検査が必要だと医師が判断したのに保健所から拒否されたケースが相次いでいることを明らかにし東京都などに改善を訴えた。理由としては「現状では重症の肺炎患者を優先している」などという声が多かった[171]。

日本医師会に3月3日までに寄せられた報告によると、地域の医師が検査必要と判断したものの保健所に断られ、検査可能な「帰国者・接触者外来」を紹介してもらえないケースが北海道と6つの県で合わせて30件あった。保健所からは「まだ重症ではない」「地域の検査能力が足りない」などと言われたとしている[172]。また日本医師会は3月18日、医師が必要だと判断したのにPCR検査を実施されない不適切な事例が26都道府県で290件あったと発表した[173]。

医師の批判

日本の検査体制についてマスコミや医療界などからも批判がある。

上昌広

上昌広医療ガバナンス研究所理事長も1日最大3,800人という点について「1日20万件以上も検査できる能力を持つ民間企業もあるのにも関わらず、厚労省は検査数を絞っているように見える」と述べ、背景には自らの管理下で検査を行うことで影響力を維持したい厚労省の政治的思惑や予算の問題がからんでいると主張した[174]。また上はウイルスを検出するためのPCR検査についての厚労省による基準は「医学的根拠のない」ものとして批判し、症状が軽く風邪と誤認したまま感染源となっているケースがあると主張した[174][175][176]。さらに上は、スイスの製薬会社ロシュの簡単な遺伝子検査キットを日本政府が「頑なに」導入しないのは、厚労省が検査方法を独自開発するために予算をつけたからだと述べた[177][178]。しかし、厚生労働省健康局結核感染症課によれば、2月13日にはロシェ検査キットは使えるようになっており、国立感染症研究所のマニュアルでも従来のキアゲン (QIAGEN) 検査キットと感度は同等とされており、「日本政府が頑なに導入しない」という事実はないと反論した[179][178]。

上は2月25日に放送されたTBSテレビのNEWS23において、日本の民間の検査会社の約100社は合計900ほどのラボを持っており、1日9万件検査が可能だとし、日本のPCR検査が韓国に比べて少ないことについて「厚生労働省がよほど（検査を）やりたくないのだなあと。そういうニュアンスを感じます」、国立感染症研究所は「『自分たちでやりたい』『自前でやりたい』という意識が強いと思うんです。自分たちで検査を開発する･･･その予算もついてました」「感染者を多く見せたくないんじゃないかというウラがあるような気がします」と述べた[176]。

研究者の批判

岡田晴恵

2月28日、テレビ朝日番組『モーニングショー』で白鷗大学の岡田晴恵特任教授が地方衛生研究所のデータは国立感染症研究所が掌握しており、ある感染研OBがデータを「自分で持っていたい」と言っていると告発した[180]。

山中伸弥

3月31日、山中伸弥京都大学iPS細胞研究所所長は5つの提言の中で、検査数が少ないから気付かずオーバーシュートは起こらない。無症状者などは専用の施設に入ってもらった上で同時に検査数を増やすと提言した[181]。

本庶佑

4月6日、本庶佑京都大学名誉教授は提言の中で韓国やドイツに比べ5日までに検査を受けた人が約4万5千人で著しく少なすぎるとして、1日1万人以上に増やすことが重要だとしている[182]。

中村祐輔

中村祐輔シカゴ大学名誉教授は、感染症対策は事実に基づくべきなのに日本は検査数という分母が実態に即していない。科学的な統計として成り立っていない[183]。

島田眞路

島田眞路山梨大学学長は日曜日の検査数が少ないことは検査体制の不備を示しており、国立大学医学部の活用など至急改善の必要があるとしている[184]。

野党による批判

立憲民主党の枝野幸男代表は「検査してもらいたいのに放っておかれているとの声があがってくる。わが国が持っている資源をフル稼働できていない」と批判した[166]。

2月27日の衆議院予算委員会で、立憲民主党の川内博史議員は、国立感染症研究所から北海道庁に派遣された3人の専門家が「検査をさせないようにしている疑念がある」と指摘し、また日刊ゲンダイのインタビューに「政府は検査を拡大することで、多くの陽性患者が発覚することを恐れているのではないか」と述べた。同日、日刊ゲンダイは、感染者数を増やさないようにするため厚労省が「検査妨害」をしたと報じた[185]。

アメリカ大使館・在日米軍

- 4月3日、在日米大使館は、日本は検査を広範囲に行わず感染状況の把握が困難になっているとして帰国準備を呼びかけた[186]。
- 15日、在日米軍司令部は関東に限定していた公衆衛生上の非常事態宣言の対象を全国に広げた[187]。

批判への反論

神戸大学病院感染症内科の岩田健太郎教授は新興感染症に対して場当たり的に大量の検査を行うことは不合理であると批判した[188]。ただし、岩田は厚労省の症例定義にこだわりすぎ、一種のマニュアル主義に陥ってしまうことや、感染症の専門家ではない厚労省の医系技官が仕切ることを批判し、中国や韓国にもあるCDCは早急に日本にも作る必要があり、日本では軽症者が多いこの感染症を「指定感染症」にしたせいで医療所を疲弊させており指定は解除すべきだと主張した[188]。

臨床遺伝専門医の仲田弘美は2月23日に、現在の市中感染の段階では医療リソースは限りがあるため緊急度に従って優先順をつけることが肝要で、厚生労働省行政の批判だけをするのはアジテーションだと反論した[189]。

血液内科医の中村ゆきつぐは2月27日に現在の市中感染の段階では、早期診断してもしなくても新型コロナウイルス患者の転機は変わらず、むしろ院内感染リスクが高まれば感染が拡大すると反論した[190]。

医師の桑満おさむは2月28日、ワイドショーでの医師の発言には間違いが多く、PCR検査での早期発見が重症化を予防するとは限らず、医師会も直接医療機関を受診しないで、帰国者・接触者相談センターに電話相談を通達していると反論した[191]。

元米国CDC・厚労省検疫官でパブリックヘルス協議会理事の木村盛世は2月28日に「現段階で、望む人全てに検査をするのは、感染者に対する社会的偏見の助長と、限られた医療資源を圧迫するだけだ」[192]と反論したうえで、2月29日には「データを独り占めしたいと言うのは感染研に限ったことではない。厚労省大臣官房統計情報部は、御用学者等ごく限られた人達にしかデータ使用を認めない。素人同然職員が概要報告して、捨ててしまう。保健医療だけでなく雇用も含め膨大かつ貴重なデータが生かされない。」と厚労省の体制を批判[193]、3月2日には、「PCR全数検査で早期発見し、アビガンで早期治療をするのが効果的」という発言は新型コロナウィルスに関する最大のデマであると述べた[194]。

都立駒込病院（第一種感染症指定医療機関）の今村顕史感染症科長は、現在の日本の状況では集団感染（クラスター）対策が最も重要であるとしたうえで、感染経路を把握するためにも濃厚接触者の検査は重要で、濃厚接触者ではない人を片っ端から検査することは望ましくないとする[195]。無症状や軽症も多いという新型コロナウイルスの特徴から、その中に陽性者がいる可能性は否定できないが、安易な検査拡大で、病床・人員・防護服などの用品の不足などから、本当は避けることができる医療崩壊が始まるとする[195]。軽症者でベッドが埋まり、防護具が減ると、コロナ患者だけでなく、それ以外の重症者も救えなくなるとする[195]。また保健所も人数が限られていることも指摘したうえで、メディアは患者への配慮が足りないと批判した[195]。

心臓外科医の澁谷泰介は『グッド!モーニング』の取材に、「 PCR検査を今後増やしていくこと自体は大事なことではあるのですけれども、今現在、現場で不必要な検査が増えることは現場としては全く望んでいません。 もちろん基礎疾患があるですとか、感染している家族と濃厚に接触していたとか、プラスアルファのものがある方には積極的に検査をする、またはそれができるように検査数を増やすことは大切なことですけども、今現在、急場で検査数だけ増やしてくれと言われても、ちょっと難しいなというのが正直なところです 」という見解を示した。なお、同番組はこの取材に対し恣意的な編集を行ない正反対の意見として報道しており、上智大学教授・元日本テレビ『NNNドキュメント』ディレクターの水島宏明は「検証も反省もない『訂正放送』でお茶を濁すままなら、この局にテレビ報道（ジャーナリズム）を務める資格はないはずだ。それをそのままでよしとするままなら、放送というメディアにもジャーナリズムの資格がないことになってしまう」とマスコミ全般に対しても批判している[196]。

国立感染症研究所・厚生労働省の反応

3月1日、国立感染症研究所は、上記の「PCR検査の拡大を感染研OBが妨害している」「検査件数を抑えることで感染者数を少なく見せかけようとしている」「実態を見えなくするために、検査拡大を拒んでいる」といった主張に対して、これらの主張は事実と異なり、職員や関係者を不当に扱うもので、新型コロナウイルス感染症対策へ悪影響を及ぼしていると反論した[197]。

3月7日、厚生労働省は現在の日本の検査体制について、かかりつけ医が必要と考える場合には、すべての患者がPCR検査を受けることができる十分な検査能力を確保しているとし、国立感染症研究所・検疫所、地方衛生研究所、民間検査会社や大学などの協力のもと1日6,000件程度の検査能力を確保しており、3月末には8,000件を超えると発表した[198]。

また、PCR検査の医療保険適用によって、帰国者・接触者相談センター（24時間対応）から紹介された帰国者、接触者外来で検査が必要とされたときは、保健所を経由することなく、民間の検査機関に直接、検査依頼を行うことが可能となった[198]。かかりつけの医者が検査が必要と判断した場合には、帰国者・接触者外来を紹介受診し、検査を行う[198]。地域の検査能力に限界があるために断られるということがないようにするとし、同時に、検査時間を大幅に短縮できる新しい簡易検査機器の開発を進めていくと述べた[198]。

新型コロナウイルス感染症対策専門家会議

5月4日、件数が少ない事について、韓国やシンガポールはSARSなどの経験を踏まえ検査拡充を進めていた。大量のPCR検査を行う想定をしていなかった日本ではコロナでも重症化の恐れがある人や濃厚接触者を優先するしかなく、急増した3月下旬以降も十分に対応できなかった。保健所や衛生研究所に業務が集中し過ぎた事や検体を採取する人やマスクや防護服の圧倒的な不足、民間の検査会社に検体を運ぶ業者の確保が難しかった事を挙げた。政府に対しては、検査を補う迅速診断キットの開発など質の高い検査体制の構築を求めた[199]。

疑似症報告制度

厚生労働省は疑似症報告制度を採用しており、ここでいう**疑似症**とは感染症予防法で「感染症を疑わせるような症状のうち、集中治療その他これに準ずるものが必要であり、かつ、直ちに特定の感染症と診断することができないと判断したもの」と定義されるものである[200]。この疑似症報告制度によるPCR検査実施人数には、退院時の確認検査や、疑似症報告に該当しない検査、クルーズ船やチャーター便に関連する検査などは含まれておらず、実際の実施総数より少ない[201]。

例えば、この疑似症報告制度の枠組みの中で報告が上がった2月18日から3月11日までの新型コロナウイルスに係るPCR検査の実施件数の総数は25,456件であったが、退院時の確認検査などは含まない場合の3月11日までのPCR検査の実施件数の累計は10,024件となる（下の表参照）[202]。

検査制限

厚生労働省は、2月に新型コロナウイルス感染に関する相談・受診の目安について「風邪の症状や**37.5度以上の発熱が4日以上**（高齢者や持病を伴うなど重症化の恐れがある場合は2日以上）続く」「強いだるさや息苦しさがある」のいずれかに該当する場合、保健所に設置された帰国者・接触者相談センターに相談するという指針を出していた。この指針に基づき「37.5度」という数字の印象が強く先行し、感染を疑われる人が相談・受診を過度に控えているとの指摘があった。また、目安に該当しないとして診察やPCR検査が受けられないケースも多発していた[203]。

- お笑いトリオ・森三中の黒沢かずこは、プロ野球・阪神タイガース投手の藤浪晋太郎が新型コロナに感染したニュースを見て、発熱や藤浪と同じ味覚異常の症状を訴えていたが、複数の医療機関や保健所からPCR検査を拒否されたため2週間近く自宅療養を強いられ、「（別の医療機関に）粘って粘って、頼みこんで」ようやく検査に至ったことを、黒沢本人や同じ森三中のメンバー大島美幸の夫である放送作家の鈴木おさむが明らかにしている[204][205]。
- さいたま市の保健所長は4月10日の報道陣の取材で、PCR検査が2カ月で171件にとどまったことについて、県内の病床や隔離施設が不足していることから「病院があふれるのが嫌で厳しめにやっていた」と明らかにしている。病床や隔離施設の不足の原因として埼玉県によれば、軽症者や無症状者が滞在する宿泊施設の確保が難航していることや、病状が回復した入院患者がPCR検査で2回の陰性反応という条件を満たせず退院できないなどの事情で、病床が空きづらいなどの事情を挙げている[206]。
- 神奈川県横浜市のマニュアルでは帰国者・接触者相談センターで検査が必要とされても重症化リスクがないと検査を制限している。厚生労働省の指示がもとにあるとみられる[207]。
- 西村康稔経済再生担当大臣（新型コロナ対策担当大臣）は、視察に同行した内閣官房新型ウイルス感染症対策推進室の職員の感染が判明したため自宅待機を行ったが、わずか2日間の待機で公務に復帰し、その間にPCR検査を受けたことを自身のTwitter投稿で公表した。この投稿に対し短期間でPCR検査を受けられたことから「どうしてあなたが検査を受けられるのか」「政府要人だから検査を受けられるのか」などと批判が続出した[208][209]。
- 大相撲・高田川部屋で4月上旬に発熱の症状がみられる力士が出たため、当初、保健所や近隣の病院に問い合わせるなどしたが受け付けてもらえなかったという。その結果、高田川親方や所属力士に感染が広がり、このうち三段目力士の勝武士幹士は糖尿病の既往歴があり発熱と血痰の症状が見られたため、発症から4日後に入院。その後、症状が重篤化し集中治療を受けたが、5月13日に新型コロナウイルス肺炎による多臓器不全のため、28歳の若さで死去した。日本のプロスポーツ選手で初めて、また厚生労働省に報告された日本では初めての20代の死亡事例となった[210][211][212]。

安倍晋三首相は2月29日の会見で、医師がPCR検査が必要だと考えた時には「すべての患者が検査を受けられる十分な検査能力を確保する」と発言していた[213]。

新型コロナウイルス感染症対策専門家会議委員の釜萢敏日本医師会常任理事は、4月22日の会見で「発熱後4日間の自宅待機ルール」に関して「普段あまり受診されていない方でも体調が悪い状態が4日も続くようなら受診してくださいという趣旨だった」と発言し、責任回避ともとれる言動に対して批判が続出した[214][215][216]。

その後、5月8日に厚生労働省は「37.5度以上の発熱が4日以上続く」との表記を削除した新指針を公表した。受診基準の見直しを受けて、加藤勝信厚生労働大臣は同日の会見で「目安ということが、相談とか、あるいは受診の一つの基準のように（とらえられた）。**我々から見れば誤解でありますけれど…**」「これについては幾度となく、通知を出させていただいたり、『そうではないんだ』ということを申し上げて、相談や受診に弾力的に対応していただいた」などと発言。加藤の発言に対して、あたかも検査制限について国民や現場（保健所）に責任を転嫁するようなものと捉えられ、SNSや著名人などから加藤や厚労省に対する批判が続出している[217][218][219]。

届け出

医師が患者を確認した際に保健所に提出する届け出は、規定の用紙に手書きしファクシミリで送信することになっていたが、現場での負担が大きいという声があり、5月6日からオンラインでの申請が可能となった[220][221]。

ダイヤモンドプリンセス集団感染への対応

詳細は「クルーズ客船における2019年コロナウイルス感染症の流行状況」を参照

社会・経済への影響

詳細は「日本における2019年コロナウイルス感染症による社会・経済的影響」を参照

新型コロナウイルスの感染拡大によって、各業界へ影響が及び、多数のイベントや行事などの中止・延期が実施された。

緊急事態宣言発令中の休日の銀座四丁目交差点（4月19日撮影、写真内の和光は休業中）

その他

緊急事態宣言

日本医師会は2020年3月30日の記者会見で、専門家の間で「緊急事態宣言を出したほうが良い」という認識が強まっていることを明らかにした。東京都について、新たな感染者が1日100人を超えるかどうか、感染経路が不明な者の割合、患者数と病床数との兼ね合い、などが緊急事態宣言の判断基準になるという認識を示した[222]。

日本医師会は4月1日、緊急事態宣言を出すべきだとの考えを改めて示した。横倉義武会長は「欧米諸国では感染の拡大が止まらず、日本も油断すると同じような状況になる」と述べた[223]。その後、4月7日に安倍首相は改正新型インフルエンザ等対策特措法に基づく緊急事態宣言を7都道府県に出している。

また、4月9日、愛知県の大村知事は、明日、**緊急事態宣言**を出すと公表し、4月10日に愛知県の緊急事態宣言を発表した。一方で、愛知県に隣接している岐阜県では4月10日に県独自の緊急事態宣言として非常事態宣言を発令した[224]。緊急事態宣言が発出された自治体は宣言に基づき、各自治体ごとに休業や自粛などの要請を行う緊急事態措置を発令する。

4月7日に緊急事態宣言を発出したあと、愛知県や京都府が対象に加えることを要請した[225]。これに対し菅官房長官は、4月9日と10日の会見で、「現時点で愛知県、その他の自治体について、対象地域に加えるべきだとの評価に至っていない」と答弁した[226][227]。

学会の見解

日本救急医学会と日本臨床救急医学会は4月9日に声明を発表し、「救急医療体制の崩壊をすでに実感している」と危機感を示した。発熱などの症状がある病人を救急搬送しても病院に受け入れられず、殆どの場合救急救命センターで受け入れざるをえなくなっている結果、重症の救急患者の受け入れができなくなっていると指摘した[228]。

日本医師会の横倉義武会長は4月26日、福岡県の状況について「医療崩壊の一歩手前」と強い危機感を示した。PCR検査の体制拡充については「3月20日ごろから検査の拡充を訴えたが、政府はなかなか動かなかった」、政府の緊急事態宣言については「もう少し早く判断してもらいたかった」と指摘した[229]。

新型コロナウイルスの治療に携わる医療従事者への感謝を表し青色にライトアップされたHAT神戸・人と防災未来センター西館

自宅療養

- 4月3日時点では厚生労働省はPCR検査で2回連続陰性か14日間、増悪がない場合は宿泊・自宅療養を解除としていた[230]。
- 埼玉県では入院できずに4月14日に1人、21日に1人が亡くなった。23日時点で357人が自宅待機していた。このケースを受け、加藤勝信厚労相は基本として宿泊療養で対応する方針を示している[231]。
- 女優の岡江久美子は4月3日に発熱し、医師から4、5日間の自宅での療養指示を受けたが、同月6日に症状が悪化し緊急入院となった。その後、PCR検査で新型コロナウイルスの感染が判明しICUで治療を行ったが、感染症予防対策の観点から家族は見舞うことができず、闘病の末同月23日に死去した。
- フリーアナウンサーの赤江珠緒は、テレビ朝日に勤務し『報道ステーション』の制作スタッフである夫とともに4月18日に新型コロナウイルスに感染していたことが判明。夫が既に同月15日の時点で入院しており、赤江は発熱の症状がありながらも解熱剤を飲みながら、2歳になる長女（PCR検査の結果、陰性）の面倒を見るために自宅療養を選択した。感染発覚前の同月16日には「我が家は3人家族で、親が共倒れになった場合の子供の面倒は誰がみるのかという問題があります」と、両親が感染した場合に「子供の面倒を誰がみたらいいのか」という不安感を手記として公表している[232]。その後、夫が退院するとほぼ入れ替わる形で、赤江は発症11日後に入院し療養している[233]。入院の段階で赤江は

肺炎を発症しており、4段階あるうちの重症度で「中等症」に分けられ、アビガンなどの投与と抗生剤の点滴を受けて症状が回復しその後、退院。自宅に戻り療養を続けている[234]

- 4月24日時点で「特定警戒都道府県」に指定された7府県で約1,100人が自宅で療養していた。感染者が多い東京都では「保健所の調査が追い付いていない」として公表していなかった[235]。

感染が公表された著名人

スポーツ

- 田嶋幸三 - 日本サッカー協会会長[236]
- 藤浪晋太郎（阪神タイガース） - プロ野球選手[237]
- 伊藤隼太（阪神タイガース） - プロ野球選手[237]
- 長坂拳弥（阪神タイガース） - プロ野球選手[237]
- 酒井高徳（ヴィッセル神戸） - プロサッカー選手[238]
- 塚原直貴（富士通陸上競技部） - 元陸上選手[239]
- 舩津徹也（ザスパクサツ群馬） - プロサッカー選手[240]
- 梨田昌孝 - 野球評論家、元プロ野球選手・監督[241]
- 永石拓海（セレッソ大阪） - プロサッカー選手[242]
- 井上茂徳 - 競輪評論家、元競輪選手[243]
- 中里壮也 - 全日本柔道連盟専務理事[244]
- 片岡篤史 - 野球評論家、元プロ野球選手[245]
- 松下三郎 - 公益財団法人講道館理事（2020年4月19日死去[246]）
- 高田川親方 - 元大相撲力士、元関脇・安芸乃島勝巳[247][248]
- 白鷹山亨将（高田川部屋） - 大相撲力士、十両[247][248]
- 相馬秀斗（H.C.栃木日光アイスバックス） - プロアイスホッケー選手[249]
- 勝武士幹士（高田川部屋） - 大相撲力士、三段目（2020年5月13日死去[250]）

このほか、大阪エヴェッサ所属のプロバスケットボール選手11名[251][252][253][254]、三菱重工相模原ダイナボアーズ所属の社員ラグビー選手2名[255]、日本相撲協会の幕下以下の力士4名[256][257][248]、愛知県内のジムに所属するA級プロボクサー1名・C級プロボクサー1名[258]の感染が公表された。

芸能

- 志村けん - コメディアン、タレント[259][260]（2020年3月29日死去[261]）
- 小宮璃央 - 俳優、タレント[262]
- 宮藤官九郎 - 脚本家、俳優[263]
- 黒沢かずこ（森三中） - お笑いタレント[264]
- ゴリけん - お笑いタレント[265]
- 白鳥久美子（たんぽぽ） - お笑いタレント[266]
- ラジバンダリ西井 - お笑いタレント[267]
- 逢沢しずか - モデル[268]
- 山下まみ - 声優[269]
- 与座よしあき - お笑いタレント、俳優[270]
- ソラ豆琴美 - グラビアアイドル、タレント[271]
- 石田純一 - 俳優、タレント[272]
- 石川利恵 - コスプレイヤー、YouTuber、タレントゲーマー[273]
- 岡江久美子 - 女優（2020年4月23日死去[274]）
- 美広まりな - アイドル[275][276]
- 和田周 - 俳優、劇作家（2020年4月23日死去[277]）
- 善竹富太郎 - 大藏流狂言師（2020年4月30日死去[278]）

音楽

- RYOJI（ケツメイシ） - ボーカリスト[279]

- 柳家睦（柳家睦&THE RAT BONES） - ミュージシャン[275][280][281]
- 速水けんたろう - 歌手、声優、8代目うたのおにいさん[282]
- 藤原"31才"広明（SUPER BEAVER） - ドラマー[283]
- 高木椋太 - シャンソン歌手（2020年5月2日死去[284]）
- 末芳枝 - 声楽家、日本声楽発声学会元会長（2020年4月27日死去[285]）

このほか、演奏グループ・DRUM TAOのメンバー5名[286]の感染が公表された。

マスコミ

- 岡田公伸 - テレビプロデューサー、毎日放送制作担当取締役（2020年4月9日死去[287]）
- 富川悠太 - テレビ朝日アナウンサー[288]
- 赤江珠緒 - フリーアナウンサー[289]
- 住吉美紀 - フリーアナウンサー[290]

政治

- 松村理治 - 石川県金沢市議会議員[291][292]
- 水嶋光一 - 外務省領事局長[293]
- 岡本行夫 - 外交評論家、元内閣総理大臣補佐官（2020年4月24日死去[294]）
- 広瀬鹿雄 - 東京都御蔵島村議会議長[295]

経済

- 江守康昌 - 日華化学社長、福井経済同友会代表幹事[296][297]
- 渡辺一誠 - Globality代表取締役[298]
- 立石義雄 - オムロン名誉会長、京都商工会議所名誉会頭[299]（2020年4月21日死去[300]）
- 金子眞吾 - 凸版印刷代表取締役会長、日本印刷産業連合会会長[301]

学者・教育

- 武藤正樹 - 国際医療福祉大学大学院教授、国際医療福祉総合研究所長[302]

脚注

注釈

1. ^ 感染者数はNHKデータ、退院者等（施設・自宅療養解除者を含み、死亡退院者を除く）および死亡者の数は各都道府県の公表データによるため、厚生労働省の公表データと異なる可能性がある。また、退院後に再入院した者を感染者として改めて計上していない自治体があるため、感染者数の合計は実人数と一致しない。
2. ^ ダイヤモンド・プリンセス号下船者1人を含む[35]。
3. ^ ダイヤモンド・プリンセス号船内で感染した後、東京都内の医療機関を退院した1人を含む[37]。
4. ^ ダイヤモンド・プリンセス号下船者1人を含む[40]。
5. ^ ダイヤモンド・プリンセス号下船者1人を含む[43]。
6. ^ ダイヤモンド・プリンセス号船内で感染した後、医療機関を退院した1人を含む[46]。また、県作成の資料にはこのほかにチャーター便帰国者3人も含まれる[47]。
7. ^ ダイヤモンド・プリンセス号下船者2人を含む[49]。また、県作成の資料にはこのほかにチャーター便帰国者3人と成田空港で発覚した1人など7人も含まれる[50]。
8. ^ 都作成の資料にはチャーター便帰国者、クルーズ船乗客等は含まれていない[51]。
9. ^ 横浜港大黒埠頭沖に停泊していたダイヤモンド・プリンセス号の乗客乗員を除く。また、県作成の資料にはこのほかにクルーズ船乗客、検疫官と他県で感染が確認された者など3人も含まれる[53]。
0. ^ ダイヤモンド・プリンセス号下船者1人を含む[61]。
1. ^ ダイヤモンド・プリンセス号船内で感染した後、東京都内の医療機関を退院した1人を含む[64]。
2. ^ ダイヤモンド・プリンセス号下船者2人を含む[70]。
3. ^ ダイヤモンド・プリンセス号下船者1人を含む[78]。
4. ^ 三菱重工業長崎造船所香焼工場に停泊中のコスタ・アトランチカ号乗組員を除く。

5. ^ 厚生労働省の資料では15人（うち退院者15人）[91]。

出典

1. ^ ***a*** ***b*** ***c*** ***d*** 国内感染者1万6912人 死者897人（クルーズ船除く）新型コロナ (https://www3.nhk.or.jp/news/html/20200531/k10012452241000.html).NHK NEWS WEB（2020年5月31日20:35JST）
2. ^ ***a*** ***b*** 日本放送協会 (2020-01-16). "中国 武漢の肺炎 国内で初確認 武漢に渡航した男性から 厚労省" (https://web.archive.org/web/20200116132336/https://www3.nhk.or.jp/news/html/20200116/k10012247361000.html). *NHK NEWS WEB*. 2020年1月16日時点のオリジナル (https://www3.nhk.or.jp/news/html/20200116/k10012247361000.html)よりアーカイブ。2020年4月30日閲覧。
3. ^ ***a*** ***b*** ***c*** 厚生労働省新型コロナウイルスの集団感染を防ぐために (https://www.mhlw.go.jp/content/10900000/000601720.pdf)令和2年3月1日
4. ^ 国内感染者数3000人超 新型コロナウイルス (https://www3.nhk.or.jp/news/html/20200403/k10012367161000.html)、NHK.2020年4月3日閲覧。
5. ^ 国内感染1万5千人超す　新型コロナ、死者は536人に (https://www.asahi.com/articles/ASN537JQWN53UTIL006.html)（朝日新聞デジタル、2020年5月4日閲覧）
6. ^ “神戸・中央市民病院の外来患者、3%に新型コロナの抗体 市内4万人感染の試算 (https://www.kobe-np.co.jp/news/sougou/202005/0013316005.shtml)”. 神戸新聞NEXT (2020年5月2日). 2020年5月11日閲覧。
7. ^ "新型肺炎、国内初の死者 神奈川県の80代女性" (https://www.nikkei.com/article/DGXMZO55604310T10C20A2CC1000/). 日本経済新聞 電子版. 2020年5月27日閲覧。
8. ^ 新型肺炎、国内発生100人超に　北海道や埼玉で新たな感染者　未就学児も (https://mainichi.jp/articles/20200221/k00/00m/040/326000c)（毎日新聞、2020年2月21日閲覧）
9. ^ "新型コロナ国内感染1000人超す 爆発的拡大防ぐ瀬戸際" (https://www.nikkei.com/article/DGXMZO57073800R20C20A3EA1000/). 日本経済新聞 電子版. 2020年3月22日閲覧。
0. ^ "東京五輪・パラ、「1年程度」の延期決定　「東京2020」の名称は維持" (https://www.bbc.com/japanese/52020509/). *BBC NEWS JAPAN*. 2020年3月24日閲覧。
1. ^ [1] (https://www.asahi.com/articles/ASN3W7235N3WUTIL043.html)（朝日新聞デジタル、2020年3月27日閲覧）
2. ^ 国内感染者数3000人超 新型コロナウイルス (https://www3.nhk.or.jp/news/html/20200403/k10012367161000.html)、NHK.2020年4月3日閲覧。

3. ^ 首相、緊急事態宣言を発令 8日午前0時に効力発生 ７都府県対象に (https://mainichi.jp/articles/20200407/k00/00m/010/169000c) 毎日新聞 (2020年4月7日) 、2020年4月9日閲覧。
4. ^ 国内感染者、５００人超　東京・神奈川・埼玉、最多更新―新型コロナ (https://www.jiji.com/jc/article?k=2020040800890&g=soc)（時事ドットコム、2020年4月9日閲覧）
5. ^ 日本で新型コロナ感染者が700人以上増加 (https://parstoday.com/ja/news/japan-i60680)（ParsToday、2020年4月12日閲覧）
6. ^ 新型コロナウイルスに関連した患者等の発生について(４月１２日公表分) (https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_10815.html)（厚生労働省、2020年4月12日閲覧）
7. ^ 新型コロナウイルス感染症対策本部（第２９回） (https://www.kantei.go.jp/jp/98_abe/actions/202004/16corona.html)（首相官邸、2020年4月16日閲覧）
8. ^ 国内感染者１万人突破…都内では新たに１８１人、１０歳未満も２人 (https://www.yomiuri.co.jp/national/20200418-OYT1T50223/)（讀賣新聞、2020年4月19日更新、5月15日閲覧）
9. ^ 新型コロナウイルス感染症の現在の状況と厚生労働省の対応について（令和２年４月22日版） (https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_10989.html)（厚生労働省、2020年4月22日閲覧）
0. ^ 東京都で死者計100人、新たに103人感染　新型コロナ (https://www.nikkei.com/article/DGXMZO58509170V20C20A4000000/)（日本経済新聞、2020年4月25日閲覧）
1. ^ 新型コロナ、国内死者500人超　東京は新たに160人感染 (https://www.jiji.com/jc/article?k=2020050200294&g=soc)（時事ドットコム、2020年5月4日閲覧）
2. ^ 国内感染1万5千人超す　新型コロナ、死者は536人に (https://www.asahi.com/articles/ASN537JQWN53UTIL006.html)（朝日新聞デジタル、2020年5月4日閲覧）
3. ^ “緊急事態、31日まで延長決定　首相「期限前の解除も」 (https://www.nikkei.com/article/DGXMZO58776900U0A500C2000000/)”. 日本経済新聞. 日本経済新聞社 (2020年5月4日). 2020年5月4日閲覧。
4. ^ 緊急事態宣言、３９県で解除へ　東京、大阪、北海道など維持―政府、１４日決定 (https://www.jiji.com/jc/article?k=2020051301050&g=pol)（時事ドットコム、2020年5月15日閲覧）
5. ^ 大阪・京都・兵庫で緊急事態宣言解除　首都圏など25日にも判断 (https://www.fnn.jp/articles/-/44799)(FNNプライムオンライン、2020年5月23日閲覧)
6. ^ 国内死者800人超える　東京は宣言後で最少の感染確認 (https://www.asahi.com/articles/ASN5Q7TW6N5QUTIL05N.html)（朝日新聞デジタル、2020年5月22日閲覧）

7. ^ 緊急事態全面解除　首相「流行ほぼ収束」　５都道県、７週間ぶり (https://www.sankei.com/politics/news/200525/plt2005250065-n1.html)（産経ニュース、2020年5月26日閲覧）
8. ^ 東京都 3人死亡 新型コロナウイルス (https://www3.nhk.or.jp/news/html/20200529/k10012450661000.html)（NHK、2020年5月29日閲覧）
9. ^ “新型コロナウイルスの更新情報 (https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/topics_shingata_09444.html)” 厚生労働省.
0. ^ ***a*** ***b*** ***c*** "「新型コロナウイルス感染症対策の状況分析・提言」（2020年4月22日）" (https://www.mhlw.go.jp/content/10900000/000624048.pdf) (PDF). 厚生労働省. 2020-04-22. pp. 1–2. 2020年4月29日閲覧。
1. ^ 都道府県別の感染状況（累計） (https://www3.nhk.or.jp/news/special/coronavirus/data/) NHK
2. ^ 日本放送協会 (2020年5月31日). “国内感染者1万6912人 死者897人（クルーズ船除く）新型コロナ (https://www3.nhk.or.jp/news/html/20200531/k10012452241000.html)”. *NHK*ニュース. 2020年5月31日閲覧。
3. ^ 新型コロナウイルス感染症について (http://www.pref.hokkaido.lg.jp/ss/tkk/singatakoronahaien.htm) 北海道
4. ^ 新型コロナウイルス感染症について (http://www.pref.aomori.lg.jp/welfare/health/wuhan-novel-coronavirus2020.html) 青森県
5. ^ 日本放送協会 (2020年2月29日). “東北地方で初めての新型コロナウイルス感染確認 (https://www3.nhk.or.jp/news/html/20200229/k10012307551000.html)”. *NHK*ニュース. 2020年2月29日閲覧。
6. ^ 県内の発生状況 (https://www.pref.miyagi.jp/site/covid-19/02.html) 宮城県
7. ^ 日本放送協会 (2020年3月6日). “秋田県で初の感染確認 クルーズ船乗船の男性 (https://www3.nhk.or.jp/news/html/20200306/k10012318141000.html)”. *NHK NEWS WEB*. 2020年3月6日閲覧。
8. ^ 新型コロナウイルス感染者関連の情報について (https://www.pref.akita.lg.jp/pages/archive/47957) 秋田県
9. ^ 新型コロナウイルス感染症に関連するポータルサイト (https://www.pref.yamagata.jp/ou/bosai/020072/kochibou/coronavirus/coronavirus.html) 山形県
0. ^ 日本放送協会 (2020年3月7日). “福島県で初の感染確認 クルーズ船下船の乗客 (https://www3.nhk.or.jp/news/html/20200307/k10012319181000.html)”. *NHK*ニュース. 2020年3月7日閲覧。
1. ^ 新型コロナウイルス感染症患者の県内の発生状況について (https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/21045c/fukushima-hasseijyoukyou.html) 福島県
2. ^ 新型コロナウイルス感染症患者の県内の発生状況 (https://www.pref.ibaraki.jp/1saigai/2019-ncov/hassei.html) 茨城県
3. ^ 日本放送協会 (2020年2月22日). “クルーズ船下船の栃木の60代女性感染確認 下船者の感染は初 (https://www3.nhk.or.jp/news/html/20200222/k10012297561000.html)”. *NHK*ニュース. 2020年2月22日閲覧。

4. ^ 栃木県における新型コロナウイルス感染症の発生状況および検査状況について (http://www.pref.tochigi.lg.jp/e04/welfare/hoken-eisei/kansen/hp/coronakensahasseijyoukyou.html) 栃木県
5. ^ 新型コロナウイルス感染症患者の発生状況 (https://www.pref.gunma.jp/07/z87g_00016.html) 群馬県
6. ^ 日本放送協会 (2020年3月17日). “埼玉県で新たに４人感染確認 県内34人に 新型コロナウイルス (https://www3.nhk.or.jp/news/html/20200317/k10012336381000.html)”. *NHK*ニュース. 2020年3月18日閲覧。
7. ^ 新型コロナウイルス感染症の県内の発生状況 (http://www.pref.saitama.lg.jp/a0701/covid19/jokyo.html) 埼玉県
8. ^ 新型コロナウイルスに関連した肺炎について (http://www.pref.saitama.lg.jp/a0701/shingatacoronavirus.html) 埼玉県
9. ^ 日本放送協会 (2020年2月26日). “新たに３人の感染確認 クルーズ船の男性客２人と医師 千葉 (https://www3.nhk.or.jp/news/html/20200226/k10012302651000.html)”. *NHK*ニュース. 2020年2月26日閲覧。
0. ^ ***a*** ***b*** 患者の発生について 新型コロナウイルス感染症 (http://www.pref.chiba.lg.jp/shippei/press/2019/ncov-index.html) 千葉県
1. ^ 都内の最新感染動向 (https://stopcovid19.metro.tokyo.lg.jp) 東京都新型コロナウイルス感染症対策サイト
2. ^ 東京都新型コロナウイルス感染症対策本部報 (https://www.bousai.metro.tokyo.lg.jp/taisaku/saigai/1007261/index.html) 東京都防災ホームページ
3. ^ ***a*** ***b*** 新型コロナウイルスに感染した患者の発生状況 (https://www.pref.kanagawa.jp/docs/ga4/bukanshi/occurrence.html) 神奈川県
4. ^ 県内の発生状況 (https://www.pref.niigata.lg.jp/sec/kikitaisaku/hasseijokyo-covid19-niigataken.html) 新潟県
5. ^ 新型コロナウイルス感染症の県内の患者等発生状況 (http://www.pref.toyama.jp/cms_sec/1205/kj00021798.html) 富山県
6. ^ 新型コロナウイルス感染症の県内の患者発生状況 (https://www.pref.ishikawa.lg.jp/kansen/coronakennai.html) 石川県
7. ^ 新型コロナウイルス感染症について (https://www.pref.fukui.lg.jp/doc/kenkou/kansensyo-yobousessyu/corona.html) 福井県
8. ^ 新型コロナウイルス感染症に関する統計情報 (https://www.pref.yamanashi.jp/koucho/coronavirus/info_coronavirus_data.html) 山梨県
9. ^ 長野県内における新型コロナウイルス感染症の動向 (https://www.pref.nagano.lg.jp/hoken-shippei/kenko/kenko/kansensho/joho/corona-doko.html) 長野県
0. ^ 新型コロナウイルス感染症【県内の感染動向】について (https://www.pref.gifu.lg.jp/kinkyu-juyo-joho/shingata_corona_kansendoko.html) 岐阜県
1. ^ 日本放送協会 (2020年2月28日). “静岡県で感染初確認 クルーズ船の乗客 新型ウイルス (https://www3.nhk.or.jp/news/html/20200228/k10012306741000.html)”. *NHK*ニュース. 2020年2月28日閲覧。

2. ^ 新型コロナウイルス感染症について (https://www.pref.shizuoka.jp/kinkyu/covid-19.html) 静岡県
3. ^ 愛知県内の感染者・遺伝子検査件数 (https://www.pref.aichi.jp/site/covid19-aichi/kansensya-kensa.html) 愛知県
4. ^ 日本放送協会 (2020年3月15日). “陰性で退院 12日後に再感染を確認 クルーズ船乗客 三重 (https://www3.nhk.or.jp/news/html/20200315/k10012332111000.html)”. *NHK*ニュース. 2020年3月15日閲覧。
5. ^ 新型コロナウイルス感染症の発生状況 (https://www.pref.mie.lg.jp/YAKUMUS/HP/m0068000066_00002.htm) 三重県
6. ^ 新型コロナウイルス感染症について (https://www.pref.shiga.lg.jp/ippan/kenkouiryouhukushi/yakuzi/309252.html) 滋賀県
7. ^ 新型コロナウイルス感染症に関連する情報について (http://www.pref.kyoto.jp/kentai/news/novelcoronavirus.html) 京都府
8. ^ 新型コロナウイルス感染症対策サイト (https://covid19-osaka.info) 大阪府
9. ^ 新型コロナウイルスに感染した患者の発生状況 (https://web.pref.hyogo.lg.jp/kk03/corona_hasseijyokyo.html) 兵庫県
0. ^ 日本放送協会 (2020年3月6日). “ライブ参加の男性ら３人感染確認｜NHK 奈良県のニュース (https://www3.nhk.or.jp/lnews/nara/20200306/2050003943.html)”. *NHK NEWS WEB*. 2020年3月6日閲覧。
1. ^ 新型コロナウイルス感染症に関する報道資料の一覧 (http://www.pref.nara.jp/55062.htm) 奈良県
2. ^ 新型コロナウイルス感染症に関連する情報について (https://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/000200/covid19.html) 和歌山県
3. ^ 県内の検査陽性者の動向 (https://www.pref.tottori.lg.jp/291425.htm) 鳥取県
4. ^ 新型コロナウイルス感染症に関する情報 (https://www.pref.shimane.lg.jp/bousai_info/bousai/kikikanri/shingata_taisaku/new_coronavirus_portal.html) 島根県
5. ^ 新型コロナウイルスを乗り越えよう！ (https://fight-okayama.jp) 岡山県
6. ^ 新型コロナウイルス感染症に関する情報 (https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/2019-ncov/) 広島県
7. ^ 新型コロナウイルス感染症 関連情報 (https://www.pref.yamaguchi.lg.jp/cms/a10000/korona2020/202004240002.html) 山口県
8. ^ 日本放送協会 (2020年2月25日). “新型ウイルス 徳島県で初の感染確認 クルーズ船から戻った女性 (https://www3.nhk.or.jp/news/html/20200225/k10012301341000.html)”. *NHK*ニュース. 2020年2月25日閲覧。
9. ^ 新型コロナウイルス感染症について (https://www.pref.tokushima.lg.jp/ippannokata/kenko/kansensho/5034012) 徳島県
0. ^ 新型コロナウイルス感染症（COVID－19）に関する情報 (https://www.pref.kagawa.lg.jp/content/dir1/dir1_6/dir1_6_2/wt5q49200131182439.shtml) 香川県
1. ^ 新型コロナウイルス感染症に関する情報 (https://www.pref.ehime.jp/h25500/kansen/covid19.html) 愛媛県
2. ^ 新型コロナウイルス感染症に関する情報 (https://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/111301/info-COVIT-19.html) 高知県

3. ^ 福岡県内での発生状況 (https://www.pref.fukuoka.lg.jp/contents/covid19-hassei.html) 福岡県
4. ^ 佐賀県の新型コロナウイルス感染症の状況 (https://www.pref.saga.lg.jp/kiji00373220/index.html) 佐賀県
5. ^ ***a*** ***b*** 新型コロナウイルス感染症について (https://www.pref.nagasaki.jp/bunrui/hukushi-hoken/kansensho/corona_nagasaki/corona_nagasaki_shousai/#hassei) 長崎県
6. ^ 新型コロナウイルス感染症の県内の感染者発生状況 (https://www.pref.kumamoto.jp/kiji_32300.html) 熊本県
7. ^ 大分県におけるPCR検査実施人数及び患者状況 (https://www.pref.oita.jp/site/covid19-oita/covid19-pcr.html) 大分県
8. ^ 新型コロナウイルス感染症患者の発生状況 (https://www.pref.miyazaki.lg.jp/kenko/hoken/kansensho/covid19/hassei.html) 宮崎県
9. ^ 新型コロナウイルス感染症に関する情報 (https://www.pref.kagoshima.jp/ae06/kenko-fukushi/kenko-iryo/kansen/kansensho/coronavirus.html) 鹿児島県
0. ^ 沖縄県における新型コロナウイルス感染症発生状況 (https://www.pref.okinawa.jp/site/hoken/chiikihoken/kekkaku/covid19_hasseijoukyou.html) 沖縄県
1. ^ 新型コロナウイルス感染症の現在の状況について（３月14日12時時点版） (https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_10201.html) 厚生労働省
2. ^ ***a*** ***b*** ***c*** ***d*** ***e*** ***f*** ***g*** ***h*** ***i*** 新型コロナウイルス、３割が集団感染 スポーツジムや屋形船、展示会 (https://www.fukuishimbun.co.jp/articles/-/1040735)福井新聞2020年3月4日 午前5時00分
3. ^ “新型コロナ、クラスター全国15カ所 厚労省が地図公表 (https://www.nikkei.com/article/DGXMZO56817600V10C20A3CE0000/)” (日本語). 日本経済新聞 電子版. 2020年3月16日閲覧。
4. ^ https://www3.nhk.or.jp/news/html/20200424/k10012404011000.html
5. ^ 感染した医師らが勤務 都内の総合病院が2週間休診 (https://www.asahi.com/articles/ASN2L3GTSN2KUTIL021.html)朝日新聞2020年2月18日 12時00分
6. ^ ***a*** ***b*** 新型肺炎で広がる差別 不当な扱い、ネット中傷…相模原中央病院関係者ら困惑 (https://www.sankei.com/life/news/200227/lif2002270088-n3.html)産経新聞2020.2.27 20:07
7. ^ 相模原中央病院、外来一部再開 感染後の経過観察「安全」 (https://www.kanaloco.jp/article/entry-287927.html)神奈川新聞2020年03月03日 21:13
8. ^ 研修医が新型コロナに感染 相模原の病院で勤務 (https://www.asahi.com/articles/ASN3652GQN36ULOB00M.html)朝日新聞2020年3月6日 15時21分

9. ^ 『新型コロナウイルス感染症患者発生に伴う休診について』のお知らせ (http://www.eijuhp.com/news/jyuyo/news_20200324menkai.html),
0. ^ 台東区最大の病院で集団感染か　不安募らせる患者ら (https://www.asahi.com/articles/ASN3T71RJN3TUTIL03D.html)朝日新聞2020年3月26日 11時4分
1. ^ 3月29日までに陽性者は95人となった。永寿総合病院のクラスター、陽性者100人に迫る (https://medical.nikkeibp.co.jp/leaf/all/report/t344/202003/564959.html)日経メディカル2020/03/30
2. ^ 都内で新たに８９人の感染者…６割が経路判明せず、調査協力しない若者も (https://www.yomiuri.co.jp/national/20200403-OYT1T50235/)読売新聞2020/04/04 00:52
3. ^ ***a*** ***b*** 東京で新たに４７人感染、４日連続で最多更新 (https://www.yomiuri.co.jp/national/20200326-OYT1T50279/)読売新聞2020年3月27日
4. ^ “院内、集団感染相次ぐ 中野江古田病院92人陽性 (https://www.nikkei.com/article/DGKKZO58011490U0A410C2EA2000/)” (日本語). 日本経済新聞 電子版. 2020年5月4日閲覧。
5. ^ “東京で新たに160人感染 中野江古田病院で11人死亡：朝日新聞デジタル (https://www.asahi.com/articles/ASN5266JLN52UTIL01T.html)” (日本語). 朝日新聞デジタル. 2020年5月4日閲覧。
6. ^ 県内の感染者４４人に　富山市民病院関係者は１６人 (https://webun.jp/item/7653125)（北日本新聞・Webun、2020年4月12日更新・閲覧）
7. ^ ***a*** ***b*** 『北日本新聞』2020年5月30日付26面『新型コロナ 県内「ステージ1」 データで見る 感染確認から2ヶ月』より
8. ^ 病院職員感染で診察休止 大阪 (https://www.nikkei.com/article/DGXMZO56242740Z20C20A2000000/)日本経済新聞2020/2/29 18:25
9. ^ 済生会有田病院が受診再開 直近2週間に新型コロナ感染なし (https://mainichi.jp/articles/20200304/k00/00m/040/061000c)毎日新聞2020年3月4日 10時47分(最終更新 3月4日 10時50分)
0. ^ 職員感染で休診の市民病院、問い合わせ電話相次ぐ (https://www.ryoutan.co.jp/articles/2020/03/90026/)2020年03月09日両丹日日新聞社
1. ^ 国立循環器病研究センターが外来休診、13日まで - 新型肺炎の陽性職員発生で (https://headlines.yahoo.co.jp/hl?a=20200309-21100000-cbn-soci)3/9(月) 21:10配信CBNEWS
2. ^ 兵庫 姫路で２人感染確認 病院の看護師と患者 院内感染か (https://www3.nhk.or.jp/news/html/20200310/k10012322911000.html)NHK2020年3月10日 11時41分

3. ^ “臼杵市の６０代夫婦が新型コロナ感染　入院中の妻は重症 (https://www.oita-+press.co.jp/1010000000/2020/03/20/JD0059074540)”. 大分合同新聞. (2020年3月20日) 2020年3月20日閲覧。
4. ^ **a** **b** “大分医療センターに関連した新型コロナウイルス感染症に関する知事コメント（令和2年3月25日） (https://web.archive.org/web/20200329144245/http://www.pref.oita.jp/site/bosaianzen/shingatacorona.html)”. 大分県. 2020年3月30日時点のオリジナル (http://www.pref.oita.jp/site/bosaianzen/shingatacorona.html)よりアーカイブ。2020年3月30日閲覧。
5. ^ **a** **b** **c** 美容室でクラスター発生…福岡県内の新たな感染者は３９人 (https://www.yomiuri.co.jp/national/20200411-OYT1T50153/)読売新聞2020/04/11 12:04
6. ^ 兵庫 伊丹 デイケア施設介護士と利用者感染確認 新型ウイルス (https://www3.nhk.or.jp/news/html/20200310/k10012323391000.html)NHK2020年3月10日 17時43分, 新型コロナ 姫路で院内感染か 伊丹のデイケアでも複数 (http://sun-tv.co.jp/suntvnews/news/2020/03/10/21535/)2020年03月10日(火曜日) 17:16
7. ^ **a** **b** 熊本6人目の感染者、症状なし 勤務施設で入所者らの検査開始 (https://www.nishinippon.co.jp/item/n/589628/)2020/3/6 6:00西日本新聞
8. ^ **a** **b** “感染ルート”枝分かれ続く…新型コロナ感染者 愛知で69人に ジムやデイサービス利用者で多数確認 (https://www.fnn.jp/posts/10519THK)東海テレビ2020年3月8日午前5:55FNN Prime
9. ^ **a** **b** “感染 名古屋中心の２つの「クラスター」で81人” 愛知県知事 (https://www3.nhk.or.jp/news/html/20200311/k10012325281000.html)NHK2020年3月11日 14時54分
0. ^ 千葉の福祉施設で５７人感染 (https://www.jiji.com/jc/article?k=2020032800446&g=soc)時事ドットコム2020年03月28日20時07分
1. ^ 千葉の障害福祉施設で57人が集団感染　職員と利用者 (https://www.asahi.com/articles/ASN3X6RM6N3XUDCB00G.html)朝日新聞2020年3月28日 20時20分
2. ^ **a** **b** ＜新型コロナ＞東庄の集団感染から一夜明け　北総育成園　入所の障害者を施設内で診療 (https://www.tokyo-np.co.jp/article/chiba/list/202003/CK2020033002000127.html)東京新聞2020年3月30日
3. ^ “新型コロナ　富山リハビリテーションホームに応援スタッフを派遣 (https://www.fnn.jp/articles/-/38718)”. 富山テレビ (2020年5月2日). 2020年5月8日閲覧。
4. ^ グループホーム入居者ら感染　横浜市「クラスターに相当」 (https://www.kanaloco.jp/article/entry-323803.html)神奈川新聞　2020年4月9日 01:00
5. ^ 千歳のグループホームで２人感染　新型コロナクラスター発生警戒　関係者「対策徹底したが…」 (https://www.hokkaido-np.co.jp/article/410591)北海道新聞04/09 05:00

6. ^ 千葉県 80代女性の感染確認 市川のスポーツクラブ利用は５人目 (https://www3.nhk.or.jp/news/html/20200304/k10012313551000.html)NHK2020年3月4日
7. ^ **a** **b** ジムの詳細公表で感染防げた可能性も…新型コロナ感染者41人は“全国2位” 問われる愛知県・名古屋市の姿勢 (https://www.tokai-tv.com/newsone/corner/20200304-CORONA-Jimunosyosai.html)東海テレビ3月4日
8. ^ **a** **b** 【動画あり】【速報】新型ウイルス 新潟市で新たに３人の感染確認 (https://www.niigata-nippo.co.jp/news/national/20200310529959.html)新潟日報2020/03/10 13:24
9. ^ **a** **b** **c** **d** 警察、ナイトクラブ…愛知と岐阜で発生のクラスター 0歳児2人など家族にも感染拡大 (https://www.fnn.jp/articles/-/29501)東海テレビ2020年4月8日 水曜 午後12:00
0. ^ 大阪 別のライブハウスでも新たな集団感染か 新型ウイルス (https://www3.nhk.or.jp/news/html/20200305/k10012314281000.html)、NHK NEWS WEB.2020年3月5日閲覧。
1. ^ **a** **b** “新型コロナウイルス感染症に関するライブ参加者への検査受診呼びかけの終了について (https://www.city.osaka.lg.jp/kenko/page/0000496481.html)”. 大阪市. 2020年4月29日閲覧。
2. ^ “お客様へのお知らせ (http://www.arc-light.info/)”. 大阪京橋ライブハウスArc. 2020年4月29日閲覧。
3. ^ “高知県の女性”が感染に気付かず『大阪のライブハウス』訪問か…感染の連鎖続く (https://www.mbs.jp/news/kansainews/20200303/GE00031869.shtml)MBS2020/03/03 17:24
4. ^ “【お客様へのお知らせ】新型コロナウイルス感染症の報道について (http://soarsmusic-soc.jp/news/%E3%80%90%E3%81%8A%E5%AE%A2%E6%A7%98%E3%81%B8%E3%81%AE%E3%81%8A%E7%9F%A5%E3%82%89%E3%81%9B%E3%80%91%E6%96%B0%E5%9E%8B%E3%82%B3%E3%83%AD%E3%83%8A%E3%82%A6%E3%82%A4%E3%83%AB%E3%82%B9%E6%84%9F%E6%9F%93/)”. Soap opera classics. 2020年4月29日閲覧。
5. ^ 密室での感染警戒 大阪ライブハウス、クラスター連鎖か (https://www.nikkei.com/article/DGXMZO56410710V00C20A3AC1000/)、日本経済新聞.2020年3月5日閲覧。
6. ^ 北海道 NEWS WEB札幌放送局 新たに８人感染確認 バーの客も (https://www3.nhk.or.jp/sapporo-news/20200307/7000018819.html)NHK、3月7日19時00分
7. ^ **a** **b** **c** 札幌の新たな感染者４人、ススキノのライブバーと関係 (https://www.sankei.com/life/news/200312/lif2003120080-n1.html)2020.3.12 21:24
8. ^ 東京のライブハウスがクラスターに？　福島、神奈川の観客と家族に拡大　新型コロナ (https://mainichi.jp/articles/20200405/k00/00m/040/140000c)毎日新聞2020年4月5日 19時25分,渋谷のライブハウス、複数の出演アーティストが感染…来場者５０人程度 (https://ww

w.yomiuri.co.jp/national/20200402-OYT1T50253/)読売新聞2020/04/03 07:14

9. ^ ***a*** ***b*** 可児の合唱団とジム、クラスター断定　感染女性、美濃の催し参加 (https://www.chunichi.co.jp/article/gifu/20200328/CK2020032802000049.html)中日新聞2020年3月28日
0. ^ “集団感染”の2つの合唱団…『550人規模』の合唱祭に参加 27日までに団員7人が新型コロナ陽性 (https://headlines.yahoo.co.jp/hl?a=20200327-00027539-tokaiv-soci)東海テレビ3/27(金) 18:40配信
1. ^ 和太鼓集団「TAO」でクラスターか、5人感染　大分県で計41人 (https://www.nishinippon.co.jp/item/n/599026/)2020/4/8 21:09 (2020/4/8 21:41 更新)西日本新聞. ＴＡＯメンバー５人が感染　大分、県内で計４１人に (https://www.tokyo-np.co.jp/s/article/2020040801002500.html)2020年4月8日 22時57分東京新聞
2. ^ ***a*** ***b*** 大分 6人感染確認 和太鼓グループでクラスターか 新型コロナ (https://www3.nhk.or.jp/news/html/20200408/k10012376661000.html)NHK2020年4月8日 23時40分
3. ^ ***a*** ***b*** 雪まつり後に発症者急増 北海道、新型コロナ拡大 (https://www.nikkei.com/article/DGXMZO56243210Z20C20A2CZ8000/)日本経済新聞2020/2/29 20:02
4. ^ 屋形船 そのときの船内の様子とは… 新型ウイルス感染 (https://www3.nhk.or.jp/news/html/20200217/k10012289191000.html)NHK2020年2月17日 16時49分
5. ^ ***a*** ***b*** ***c*** 岐阜のクラスター、入居ビルのエレベーター利用者も感染か (https://www.yomiuri.co.jp/national/20200408-OYT1T50267/)読売新聞2020/04/09 11:31
6. ^ 岐阜大病院の医師感染「自覚足りず」　ナイトクラブで飲食 (https://www.chunichi.co.jp/article/gifu/20200405/CK2020040502000048.html)中日新聞2020年4月5日
7. ^ 宮城）仙台のパブ、新たに4人感染　クラスター発生か (https://www.asahi.com/articles/ASN416WVTN41UNHB019.html)朝日新聞2020年4月2日 11時00分
8. ^ 仙台のクラスター、家族内感染の要因に　県内感染者の増加止まらず (https://www.yamagata-np.jp/news/202004/09/kj_20200409000225.php)山形新聞2020年04月09日　10:19
9. ^ ***a*** ***b*** "クラスター発生の京都産業大絡み7人感染新たに確認 学生や交流のあった住民、計32人に" (https://www.kyoto-np.co.jp/articles/-/204896). 京都新聞. 2020-03-31. 2020年4月1日閲覧。
0. ^ ***a*** ***b*** "京都 大学で「クラスター」発生か 欧州帰りの学生ら感染" (https://www3.nhk.or.jp/news/html/20200329/k10012356581000.html). *NHK*ニュース. 2020-03-29. 2020年4月1日閲覧。

1. ^ ***a*** ***b*** "感染相次ぐ京都産業大学 何が感染広げたか 新型コロナ" (https://www3.nhk.or.jp/news/html/20200331/k10012360661000.html). *NHK*ニュース. 2020-03-31. 2020年4月1日閲覧。
2. ^ ***a*** ***b*** 京産大に抗議や意見が数百件　「殺しに行く」脅迫も (https://www.asahi.com/articles/ASN485WRRN48PLZB00J.html)朝日新聞 2020年4月8日 18時12分
3. ^ ***a*** ***b*** クラスター発生で京産大生、「飲食店入店断られた」「アルバイトをクビに」 (https://www.yomiuri.co.jp/national/20200407-OYT1T50306/)読売新聞2020/04/08 14:36
4. **^** 美容院でクラスターか　福岡、1日で最多の感染者39人 (https://www.asahi.com/articles/ASN4B7FQWN4BTIPE032.html)朝日新聞 2020年4月10日 23時23分
5. ^ ***a*** ***b*** ***c*** **引用エラー: 無効な**〈ref〉**タグです。「teigen3-19」という名前の注釈に対するテキストが指定されていません**
6. **^** “WHOトップ、安倍首相を称賛 (https://www.nishinippon.co.jp/item/o/591925/)” (日本語). 西日本新聞ニュース【ジュネーブ共同】 (2020年3月14日). 2020年4月20日閲覧。
7. **^** “新型コロナ 世界の流れに遅れた「検査制限」 | 実践！感染症講義 -命を救う5分の知識- | 谷口恭 (https://mainichi.jp/premier/health/articles/20200319/med/00m/100/002000c)” (日本語). 毎日新聞「医療プレミア」 (2020年3月19日). 2020年4月20日閲覧。
8. **^** WHO Emergencies Press Conference on coronavirus disease outbreak - 13 March 2020 (https://www.who.int/docs/default-source/coronaviruse/transcripts/who-transcript-emergencies-coronavirus-press-conference-full-13mar2020848c48d2065143bd8d07a1647c863d6b.pdf?sfvrsn=23dd0b04_2) Coronavirus disease (COVID-2019) press briefings (https://www.who.int/emergencies/diseases/novel-coronavirus-2019/media-resources/press-briefings)WHO公式サイトに掲載
9. ^ ***a*** ***b*** 専門家が提言 “国内で重症患者が出た場合に備えよ” (https://www3.nhk.or.jp/news/html/20200210/k10012280131000.html)NHK 2020-02-10
0. **^** “新型コロナウイルス核酸検出の保険適用に伴う行政検査の取扱いについて (https://www.mhlw.go.jp/content/000604470.pdf)”. 厚生労働省健康局結核感染症課長 (2020年3月4日). 2020年5月1日閲覧。
1. **^** “無症状患者のPCR検査、保険適用の方針　医師の判断で (https://www.asahi.com/articles/ASN4W5TWVN4QULBJ00X.html)”. 朝日新聞. 2020年5月1日閲覧。
2. **^** “ＰＣＲ検査、大阪で最長１０日待ち 医師「保健所受け付けず」―民間委託で拡充急ぐ：時事ドットコム (https://www.jiji.com/jc/article?k=2020050300126&g=soc)” (日本語). 時事ドットコム. 2020年5月4日閲覧。
3. **^** “コロナ検査 機能不全 (https://www.nikkei.com/article/DGKKZO58432780U0A420C2MM8000/)” (日本語). 日本経済新聞 電子版. 2020年5月4日閲覧。

4. ^ 日本放送協会. “ＰＣＲ検査 必要と判断しても実施まで「５日程度かかる」 (https://www3.nhk.or.jp/news/html/20200417/k10012393541000.html)”. *NHK*ニュース. 2020年5月4日閲覧。
5. ^ 新型ウイルス 検査体制拡充 最大一日3800人検査可能に (https://www3.nhk.or.jp/news/html/20200218/k10012289821000.html) NHK二ュース 2020年2月18日
6. ^ ***a*** ***b*** 「新型コロナ検査、実際は「1日平均約900件」 説明大きく下回り野党批判 (https://mainichi.jp/articles/20200226/k00/00m/010/385000c)」毎日新聞2月26日 22時24分
7. ^ ***a*** ***b*** 地域によって大きな開き 新型コロナウイルス (https://www3.nhk.or.jp/news/html/20200303/k10012311861000.html?utm_int=news_contents_news-main_001検査の実施状況)NHK2020年3月3日
8. ^ “「なぜNHKか？」安倍政府が拒んでいた「都道府県ごとのコロナ検査状況」をNHKが報道。「患者を減らしたのではなく、感染者数を減らしたい安倍だった」 (https://ameblo.jp/kin322000/entry-12579609423.html)” (日本語). 佐々木公哉のブログ (2020年3月4日). 2020年3月5日閲覧。
9. ^ “新型コロナ　外来患者3.3%に抗体 神戸の病院　市内4万人感染の試算 千人を検査 (https://www.jcp.or.jp/akahata/aik20/2020-05-04/2020050401_04_1.html)”. しんぶん赤旗. 2020年5月11日閲覧。
0. ^ 京都新聞2020年4月15日朝刊p7
1. ^ “都医師会「検査体制改善を」 (https://news.cube-soft.jp/archive/3741331.html)” (日本語). *Cube* (2020年2月28日). 2020年3月5日閲覧。
2. ^ “保健所“検査拒否”７道県で３０件 コロナ (https://headlines.yahoo.co.jp/videonews/nnn?a=20200304-00000440-nnn-soci)” (日本語). 日テレ*NEWS24* (2020年3月4日). 2020年3月5日閲覧。
3. ^ “ＰＣＲ検査できず、２９０件 医師が必要と判断も―日医調べ：時事ドットコム (https://www.jiji.com/jc/article?k=2020031801012&g=soc)” (日本語). 時事ドットコム. 2020年3月19日閲覧。
4. ^ ***a*** ***b*** 新型肺炎「万単位の感染者が街を歩いている可能性も」と医師 (https://jisin.jp/domestic/1834333/) 女性自身 2020年2月24日
5. ^ 遺伝子検査行う体制作り急げ (https://japan-indepth.jp/?p=50339) NEXT MEDIA "Japan In-depth"［ジャパン・インデプス］/上昌広 2020年2月25日
6. ^ ***a*** ***b*** 「検査が遅いのは厚労省側のウラが？」新型コロナ対策で「NEWS23」上昌広さんの辛口解説を聞け！ (https://news.yahoo.co.jp/byline/mizushimahiroaki/20200226-00164735/) Yahoo!ニュース/水島宏明 2020年2月26日
7. ^ 新型コロナ、厚労省が最新検査法を導入しない呆れた理由 (https://www.news-postseven.com/archives/20200221_1543357.html) NEWSポストセブン (女性セブン) 2020年2月21日

8. ^ *a b* ［新型肺炎FactCheck］「スイス製検査キットを日本政府は頑なに導入しない」は誤り (https://infact.press/2020/03/post-5006/) INFACT 2020年3月1日
9. ^ 国立感染症研究所病原体検出マニュアル　2019n-CoV Ver2.7 (https://www.niid.go.jp/niid/images/lab-manual/2019-nCoV20200225.pdf) (2月25日)
0. ^ PCR検査の拡大を感染研OBが妨害……「岡田教授」がテレ朝で告発の波紋 (https://headlines.yahoo.co.jp/article?a=20200301-00611325-shincho-soci&p=1) 週刊新潮WEB取材班 2020年3月1日
1. ^ https://www.j-cast.com/2020/04/01383488.html?p=all
2. ^ https://www3.nhk.or.jp/lnews/kyoto/20200406/2010006291.html
3. ^ 京都新聞2020年4月15日朝刊p7
4. ^ “山梨大学における新型コロナウイルス感染症 (https://www.yamanashi.ac.jp/wp-content/uploads/2020/03/6bf1e59badd192ea0597a659e94a9d59.pdf)” (2020年4月22日). 2020年4月30日閲覧。
5. ^ 厚労省が政権に忖度か 感染者急増の北海道で“検査妨害” (https://www.nikkan-gendai.com/articles/view/news/269709) 日刊ゲンダイ 2020年2月28日
6. ^ 京都新聞2020年4月15日朝刊p7
7. ^ 京都新聞2020年4月16日朝刊p26
8. ^ *a b* 「「新型肺炎」日本の対策は大間違い」、は大間違い (https://georgebest1969.typepad.jp/blog/2020/02/%E6%96%B0%E5%9E%8B%E8%82%BA%E7%82%8E%E6%97%A5%E6%9C%AC%E3%81%AE%E5%AF%BE%E7%AD%96%E3%81%AF%E5%A4%A7%E9%96%93%E9%81%95%E3%81%84%E3%81%AF%E5%A4%A7%E9%96%93%E9%81%95%E3%81%84.html) 楽園はこちら側/岩田健太郎 2020年2月5日
9. ^ 新型コロナウイルス (http://minerva-clinic.or.jp/blog/king-of-fake-lie-of-the-medical-doctors-on-air/)神宮外苑ミネルバクリニック,2020-02-23
0. ^ 新型コロナウイルスPCR検査の意味 もう今の時期には無駄な仕事を増やすだけ 検査のために病院に行くのはわざわざ感染しに行く愚の骨頂 (https://blogos.com/outline/438799/) BLOGOS/中村ゆきつぐ 2020年2月27日
1. ^ ワイドショーの新型肺炎情報は医師の発言であっても間違いだらけ、不安を煽るだけ (https://www.gohongi-clinic.com/k_blog/3988/) 五本木クリニック 2020年2月28日
2. ^ 午後1:38・2020年2月28日 (https://twitter.com/kimuramoriyo/status/1233250064824336384?s=20)
3. ^ 午後0:07・2020年2月29日 (https://twitter.com/kimuramoriyo/status/1233589540121563136?s=20)

4. ^ twitter 午後10:09・2020年3月2日 (https://twitter.com/kimuramoriyo/status/1234665817099530240?s=20)
5. ^ *a b c d* 最前線で治療に当たる医師の願い　「医療が崩壊しないようにみんなで協力してほしい」 (https://www.buzzfeed.com/jp/naokoiwanaga/covid-19-imamura)buzzfeed,2020/03/12 10:32
6. ^ “テレ朝『グッド！モーニング』が医師コメント で“訂正放送”。「大変おわび」でも検証も反省もなし！（水島宏明） - Yahoo!ニュース (https://news.yahoo.co.jp/byline/mizushimahiroaki/20200512-00178057/)” (日本語). *Yahoo!*ニュース 個人. 2020年5月12日閲覧。
7. ^ 新型コロナウイルス感染症の積極的疫学調査に関する報道の事実誤認について (https://www.niid.go.jp/niid/ja/diseases/ka/corona-virus/2019-ncov/2484-idsc/9441-covid14-15.html) 国立感染症研究所 2020年3月1日
8. ^ *a b c d* 「新型コロナウイルスQ&A：PCR検査数は増えたか。「検査したくても保健所で断られた」との指摘があるが、保険適用で変わるのか？ (https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryou/dengue_fever_qa_00001.html#Q31)」厚生労働省、令和2年3月7日
9. ^ 京都新聞2020年5月5日朝刊p4
0. ^ 感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律第12条第1項及び第14 条、疑似症サーベイランスの運用ガイダンス(第三版) (https://www.niid.go.jp/niid/images/epi/PDF/gijisyo-gildeline-200110.pdf)2020年1月10日国立感染症研究所
1. ^ 国内の発生状況 (https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164708_00001.html#kokunaihassei) 3月7日12:00現在,厚生労働省
2. ^ 新型コロナウイルス感染症の現在の状況と厚生労働省の対応について（令和２年３月１３日版） (https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_10187.html)
3. ^ 相談目安「３７．５度以上」削除　新型コロナで新指針―厚労省 (https://www.jiji.com/jc/article?k=2020050801198&g=soc) - 時事ドットコム 2020年5月8日
4. ^ 「粘って、粘って、頼みこんでやっと検査」森三中・黒沢の新型コロナ感染判明経緯、相方大島の夫・鈴木おさむさんが説明 (https://www.chunichi.co.jp/chuspo/article/entertainment/news/CK2020040402100025.html) - 中日スポーツ(CHUNICHI Web) 2020年4月4日
5. ^ 黒沢かずこ「これからは闘っていきたい」新型コロナ陽性　肉声をネットに投稿 (https://www.daily.co.jp/gossip/2020/04/07/0013252684.shtml) - デイリースポーツ online 2020年4月7日
6. ^ さいたま市保健所、「病床不足で」ウイルス検査の件数抑制　新型コロナ (https://www.jiji.com/jc/article?k=2020041001135&g=soc) - 時事ドットコム 2020年4月11日
7. ^ ＰＣＲ検査の実施制限/自治体マニュアルで判明 (https://www.jcp.or.jp/akahata/aik20/2020-04-12/2020041202_02_1.html) - しんぶん赤旗電子版 2020年4月12日

8. ^ 西村担当相ＰＣＲ検査に批判続出　「要人だから」「ずるい」 (https://www.jiji.com/jc/article?k=2020042700712&g=pol) - 時事ドットコム 2020年4月27日
9. ^ 西村担当相がＰＣＲ検査/国民の不満噴出/受けられず不安抱え (https://www.jcp.or.jp/akahata/aik20/2020-04-28/2020042802_05_1.html) - しんぶん赤旗電子版 2020年4月28日
0. ^ 大相撲の現役力士がコロナで死去　三段目勝武士さん、２８歳 (https://www.jiji.com/jc/article?k=2020051300544) - 時事ドットコム 2020年5月13日
1. ^ 大相撲・三段目の勝武士がコロナで死去、２８歳…受け入れ先見つからず症状悪化 (https://www.yomiuri.co.jp/sports/sumo/20200513-OYT1T50178/) - 読売新聞オンライン 2020年5月13日
2. ^ 死去の勝武士さん発熱も受け入れ病院なく４日後入院 (https://www.nikkansports.com/battle/sumo/news/202005130000252.html) - 日刊スポーツ 2020年5月13日
3. ^ PCR検査、揺らぐ首相答弁　能力を確保？全力傾ける？ (https://www.asahi.com/articles/ASN325W49N32UTFK01M.html)- 朝日新聞デジタル 2020年3月2日
4. ^ コロナ専門家会議「”4日様子みて”言ってない」と虚偽説明…検査抑制で在宅死亡者増加か (https://biz-journal.jp/2020/04/post_153919.html) - Business Journal 2020年4月24日
5. ^ 小沢氏が「４日間待機ルール」を誤解と言い訳の専門家に「そんな暇はない」と苦言 (https://www.daily.co.jp/gossip/2020/04/24/0013295608.shtml) - デイリースポーツ online 2020年4月24日
6. ^ 麻木久仁子怒り　コロナ受診の“待機ルール”誤解？ (https://www.nikkansports.com/entertainment/news/202004240000187.html) - 日刊スポーツ 2020年4月24日
7. ^ 加藤厚労大臣　相談目安「我々から見れば誤解」発言にネット怒りの声「ふざけるな」「酷い」 (https://www.daily.co.jp/gossip/2020/05/08/0013328878.shtml) - デイリースポーツ online 2020年5月8日
8. ^ 尾木ママ、加藤厚労大臣の相談目安「誤解」に疑問「発表の態度が最悪ではないでしょうか？」 (https://hochi.news/articles/20200509-OHT1T50092.html) - スポーツ報知 2020年5月9日
9. ^ 橋下氏　加藤厚労相の３７・５度以上「誤解」発言に「酷い。保健所怒り狂いますよ」 (https://www.daily.co.jp/gossip/2020/05/10/0013331431.shtml) - デイリースポーツ online 2020年5月10日
0. ^ 「昭和のオフィスか」　最前線の医療現場に強いられる「手書きでファクス」　新型コロナ (https://mainichi.jp/articles/20200428/k00/00m/040/010000c) - 毎日新聞

1. ^ 「日本ついにデジタル」米紙、ファクス脱却と報道 - 社会 (https://www.nikkansports.com/general/news/202005070000201.html) - 日刊スポーツ
2. ^ 「緊急事態宣言した方が」大勢　諮問委メンバー明かす (https://www.asahi.com/articles/ASN3Z5WZMN3ZUTFL009.html) 朝日新聞 2020年4月2日閲覧。
3. ^ 日本医師会、緊急事態宣言を要望…「油断すると欧米と同じような状況に」 (https://www.yomiuri.co.jp/medical/20200401-OYT1T50228/) 読売新聞 2020年4月2日閲覧。
4. ^ 岐阜県が非常事態宣言　外出自粛徹底、保育所休園求める (https://www.gifu-np.co.jp/news/20200411/20200411-231879.html)岐阜新聞 2020年4月11日閲覧。
5. ^ “緊急事態宣言追加要請 京都を動かした「愛知の動き」 (https://mainichi.jp/articles/20200410/k00/00m/010/324000c)” (日本語). 毎日新聞. 2020年4月18日閲覧。
6. ^ “質問書面回答「あの場限り」 緊急事態宣言の首相会見で 官房長官会見詳報 (https://mainichi.jp/articles/20200409/k00/00m/010/227000c)” (日本語). 毎日新聞. 2020年4月18日閲覧。
7. ^ “新型コロナ 緊急事態宣言 愛知県や京都府「追加に至らず」 菅官房長官 (https://mainichi.jp/articles/20200410/dde/001/040/039000c)” (日本語). 毎日新聞. 2020年4月18日閲覧。
8. ^ “救急医療の崩壊「すでに実感」　2学会が声明公表 新型コロナ感染拡大、他の急患治療に支障：朝日新聞デジタル (https://www.asahi.com/articles/DA3S14437972.html)” (日本語). 朝日新聞デジタル. 2020年4月14日閲覧。
9. ^ “医療崩壊「福岡は目前」 日本医師会・横倉義武会長インタビュー (https://www.nishinippon.co.jp/item/n/603689/)” (日本語). 西日本新聞ニュース. 2020年4月27日閲覧。
0. ^ 新型コロナ陽性でも、軽症者・無症状者は「宿泊療養・自宅療養」の対象に―厚労省 (https://gemmed.ghc-j.com/?p=33280) - GemMed 2020年4月3日
1. ^ 「軽症者は宿泊施設で療養」　容体急変の死者受け厚労省 (https://www.asahi.com/articles/ASN4R74C4N4RUTFL00D.html) - 朝日新聞デジタル 2020年4月23日
2. ^ 赤江珠緒さん「子どもの面倒 誰が？」 新型コロナに夫婦で感染 (https://www3.nhk.or.jp/news/html/20200420/k10012396701000.html) - NHKニュース 2020年4月20日
3. ^ 「たまむすび」リスナーの皆様へ～赤江珠緒さんから病状などの報告（４／２９現在） (https://www.tbsradio.jp/478490) - TBSラジオ 2020年4月29日

4. ^ 赤江珠緒「私は中等症」病院のカテゴリー分類を説明 (https://www.nikkansports.com/entertainment/news/202005130000019.html) - 日刊スポーツ 2020年5月13日
5. ^ 新型コロナ:自宅療養、7府県で1100人　軽症者は原則ホテルへ (https://www.nikkei.com/article/DGXMZO58481610U0A420C2CC1000/) - 日本経済新聞 2020年4月24日
6. ^ サッカー協会の田嶋会長が新型コロナ検査で陽性 (https://www.sankei.com/sports/news/200317/spo2003170027-n1.html) - 産経ニュース 2020年3月17日
7. ^ ***a*** ***b*** ***c*** “阪神・藤浪、伊藤隼、長坂が陽性　揚塩社長「深く重く受け取っています」食事会１２人参加/阪神タイガース” (https://www.daily.co.jp/tigers/2020/03/27/0013226475.shtml). デイリースポーツ online. (2020年3月27日) 2020年3月27日閲覧。
8. ^ “神戸DF酒井高徳が新型コロナ陽性　25日夜から体調不良、高熱” (https://www.sponichi.co.jp/soccer/news/2020/03/30/kiji/20200330s00002179268000c.html). Sponichi Annex. (2020年3月30日) 2020年3月30日閲覧。
9. ^ “北京五輪リレー「銀」の塚原直貴さん、新型コロナ感染　日本人のメダリスト初の感染公表” (https://mainichi.jp/articles/20200331/k00/00m/050/305000c). 毎日新聞. (2020年3月31日) 2020年3月31日閲覧。
0. ^ “群馬、主軸センターバックの新型コロナ陽性を公表 「申し訳ない気持ちでいっぱい」と本人は思いを吐露” (https://www.soccerdigestweb.com/news/detail/id=71332). サッカーダイジェストWeb. (2020年4月1日) 2020年4月1日閲覧。
1. ^ “梨田昌孝氏がコロナ陽性 呼吸困難と重度の肺炎” (https://www.nikkansports.com/baseball/news/202004010000302.html). 日刊スポーツ. (2020年4月1日) 2020年4月1日閲覧。
2. ^ “C大阪GK永石拓海が新型コロナ陽性、Jリーガーで3人目…複数友人との食事で感染か” (https://www.goal.com/jp/ニュース/c大阪gk永石拓海が新型コロナ陽性jリーガーで3人目複数友人との食事で感染か/1r9b8cy2gunf01aeyxnsfyp7wo). Goal.com. (2020年4月1日) 2020年4月1日閲覧。
3. ^ “鬼足の井上茂徳氏コロナ感染　元競輪選手でＧＰ３勝” (https://www.nikkansports.com/sports/news/202004070000760.html). 日刊スポーツ. (2020年4月7日) 2020年4月8日閲覧。
4. ^ “コロナ禍止まらない…全柔連１２人感染　中里専務理事と男女職員３人陽性” (https://www.daily.co.jp/general/2020/04/13/0013266651.shtml). デイリースポーツ online. (2020年4月13日) 2020年4月13日閲覧。
5. ^ 片岡篤史氏がコロナ感染　自身のユーチューブ報告 (https://www.nikkansports.com/baseball/news/202004140000697.html) - 日刊スポーツ 2020年4月14日
6. ^ 柔道界で初のコロナ死者　講道館の松下三郎理事、84歳　16日に陽性診断 (https://www.sponichi.co.jp/sports/news/2020/04/20/kiji/20200419s00006000419000c.html) - Sponichi Annex 2020年4月20日

7. ^ ***a*** ***b*** “高田川親方と白鷹山がコロナ感染　親方、関取では初めて―大相撲” (https://www.jiji.com/jc/article?k=2020042500309&g=spo). 時事ドットコムニュース (時事通信社). (2020年4月25日) 2020年4月25日閲覧。
8. ^ ***a*** ***b*** ***c*** 高田川親方と十両白鷹山が陽性　若い衆４人も感染 (https://www.nikkansports.com/battle/sumo/news/202004250000265.html) - 日刊スポーツ 2020年4月25日
9. **^** 栃木日光の選手がコロナ感染　帰省先の札幌で発熱―アイスホッケー (https://www.jiji.com/jc/article?k=2020051000181&g=spo) - 時事ドットコム 2020年5月10日
0. **^** “高田川部屋の勝武士がコロナ感染死　28歳” (https://www.nikkansports.com/battle/sumo/news/202005130000226.html). 日刊スポーツ. (2020年5月13日) 2020年5月13日閲覧。
1. **^** “Bリーグで初の新型コロナウイルス陽性反応、大阪エヴェッサが選手1名の感染を発表” (https://basket-count.com/article/detail/39387). Basket Count (2020年4月2日) 2020年4月2日閲覧。
2. **^** “Ｂリーグ大阪、新たに外部との会食参加３選手が陽性 - バスケットボール” (https://www.nikkansports.com/sports/news/202004060000479.html). 日刊スポーツ. (2020年4月6日) 2020年4月6日閲覧。
3. **^** “Ｂリーグ大阪安井代表が感染者名公表しない理由語る” (https://www.nikkansports.com/sports/news/202004080000243.html). 日刊スポーツ. (2020年4月8日) 2020年4月8日閲覧。
4. **^** “Ｂリーグ 大阪エヴェッサで新たに選手４人が感染 新型コロナ” (https://www3.nhk.or.jp/news/html/20200409/k10012378721000.html). NHK NEWS WEB. (2020年4月9日) 2020年4月9日閲覧。
5. **^** ラグビー三菱重工相模原　新たに選手１人の感染判明 (https://www.kanaloco.jp/article/entry-327884.html) - カナロコ by 神奈川新聞 2020年4月13日
6. **^** 角界で初　力士１人コロナ感染　陽性→陰性→陽性 (https://www.nikkansports.com/battle/sumo/news/202004100000201.html).日刊スポーツ（2020年4月10日）2020年4月10日閲覧。
7. **^** 協会からのお知らせ (http://www.sumo.or.jp/IrohaKyokaiInformation/detail?id=361).日本相撲協会（2020年4月10日）2020年4月10日閲覧。
8. **^** プロボクサー２人がコロナ感染　愛知県内のジム所属 (https://www.nikkansports.com/battle/news/202004210000694.html) - 日刊スポーツ 2020年4月21日
9. **^** "志村けんさん死去 コロナ肺炎 70歳 持病なし - おくやみ：日刊スポーツ" (https://www.nikkansports.com/entertainment/news/202003300000159.html). *nikkansports.com*. 2020年3月30日閲覧。

0. ^ "国内感染、新たに71人 新型コロナ、富山で初確認 志村けんさんら4人死亡" (https://mainichi.jp/articles/20200330/k00/00m/040/228000c). 毎日新聞. 2020年3月31日閲覧。
1. ^ “志村けんさん死去　新型コロナ感染で肺炎” (https://www.nikkei.com/article/DGXMZO57387450Q0A330C2CC0000/). 日本経済新聞. (2020年3月30日) 2020年3月30日閲覧。
2. ^ 「キラメイジャー」レッド　17歳小宮璃央が新型コロナ感染　先週末から撮影ストップ　テレ朝発表 (https://www.sponichi.co.jp/entertainment/news/2020/03/31/kiji/20200331s00041000167000c.html) - Sponichi Annex 2020年3月31日
3. ^ “宮藤官九郎、コロナウイルス感染「まさか自分が、と過信してしまいました」” (https://www.sanspo.com/geino/news/20200331/geo20033122050069-n1.html). SANSPO.COM. (2020年3月31日) 2020年3月31日閲覧。
4. ^ “森三中・黒沢かずこ、新型コロナウイルス感染　３月２１日に発熱、３日に判明…吉本興業が発表” (https://web.archive.org/web/20200403195423/https://hochi.news/articles/20200404-OHT1T50027.html). スポーツ報知. (2020年4月4日). オリジナル (https://hochi.news/articles/20200404-OHT1T50027.html)の2020年4月3日時点におけるアーカイブ。 2020年4月4日閲覧。
5. ^ “ゴリけん、新型コロナウイルスに感染　所属事務所が報告” (https://www.oricon.co.jp/news/2159261/full/). ORICON NEWS. (2020年4月6日) 2020年4月6日閲覧。
6. ^ “たんぽぽ白鳥久美子コロナ感染　川村エミコ自宅待機” (https://www.nikkansports.com/entertainment/news/202004080000336.html). 日刊スポーツ. (2020年4月8日) 2020年4月8日閲覧。
7. ^ “ラジバンダリ西井、新型コロナウイルス感染 きょう8日に入院” (https://www.oricon.co.jp/news/2159470/full/). ORICON NEWS. (2020年4月8日) 2020年4月8日閲覧。
8. ^ “コロナ感染の女性モデル　刻々と悪化する症状を赤裸々報告「怖い」「夜悪化する」” (https://www.sponichi.co.jp/entertainment/news/2020/04/09/kiji/20200409s00041000117000c.html). Sponichi Annex. (2020年4月9日) 2020年4月9日閲覧。
9. ^ “声優の山下まみ、新型コロナウイルス感染 9日に陽性判定” (https://www.oricon.co.jp/news/2159647/full/). ORICON NEWS. (2020年4月10日) 2020年4月10日閲覧。
0. ^ コロナ感染の与座よしあきがコメント「症状が軽い方らしいんですが、それでもめちゃくちゃしんどい」 (https://www.sponichi.co.jp/entertainment/news/2020/04/13/kiji/20200413s00041000388000c.html) - Sponichi Annex 2020年4月13日
1. ^ コロナ陽性のアイドルが症状告白　アビガン治療も開始「劇的な変化ではないけど…」 (https://www.sponichi.co.jp/entertainment/news/2020/04/14/kiji/20200414s00041000136000c.html). Sponichi Annex（2020年4月14日）2020年4月14日閲覧。
2. ^ 石田純一がコロナ陽性　沖縄で体調不良、東京に戻る (https://www.nikkansports.com/entertainment/news/202004150000573.html) - 日刊スポーツ 2020年4月15日

3. ^ “美人ゲーム実況コスプレイヤーがコロナ感染を公表　「怖くて仕方がない」” (https://sirabee.com/2020/04/18/20162306103/). しらべぇ. (2020年4月18日) 2020年4月20日閲覧。
4. ^ 俳優の岡江久美子さんが肺炎で死去 63歳 新型コロナに感染 (https://www3.nhk.or.jp/news/html/20200423/k10012401871000.html) - 日本放送協会（NHK NEWS WEB） 2020年4月24日
5. ^ ***a*** ***b*** “渋谷のライブハウス出演者がコロナ感染者と発表　３・２０夜公演” (https://www.daily.co.jp/gossip/2020/04/01/0013241052.shtml). デイリースポーツ online. (2020年4月1日) 2020年4月1日閲覧。
6. ^ “地下アイドル、コロナ体験記つづる「連日朝３７度で夜４０度近い熱」” (https://hochi.news/articles/20200424-OHT1T50033.html). スポーツ報知. (2020年4月24日) 2020年4月24日閲覧。
7. ^ 俳優の和田周さん死去　81歳　新型コロナウイルス感染　大河「勝海舟」などに出演　脚本家・虚淵玄氏の父 (https://www.sponichi.co.jp/entertainment/news/2020/04/25/kiji/20200425s00041000233000c.html) - Sponichi Annex 2020年4月25日
8. ^ 大蔵流狂言師の善竹富太郎さん　新型コロナで死去　まだ40歳 (https://www.sponichi.co.jp/entertainment/news/2020/05/01/kiji/20200501s00041000296000c.html) スポニチ 2020年5月1日 同日閲覧
9. ^ “ケツメイシＲＹＯＪＩがコロナ陽性　微熱の症状” (https://www.nikkansports.com/entertainment/news/202004010000505.html). 日刊スポーツ（2020年4月1日）2020年4月1日閲覧。
0. ^ LOFT HEAVEN [@loft_heaven] (2020年4月1日). "（重要なお知らせ）" (https://web.archive.org/web/20200401065446/https://twitter.com/loft_heaven/status/1245226817998356480) (ツイート). 2020年4月1日時点のオリジナル (https://twitter.com/loft_heaven/status/1245226817998356480)よりアーカイブ。Twitterより2020年4月4日閲覧。
1. ^ “鬼才編劇宮藤官九郎染新冠肺炎 日本演藝圈成高風險群” (https://tw.news.yahoo.com/鬼才編劇宮藤官九郎染新冠肺炎-日本演藝圈成高風險群-002241445.html) (中国語). Yahoo奇摩新聞. (2020年4月1日) 2020年4月23日閲覧。
2. ^ “速水けんたろう、新型コロナウイルス感染 7日に陽性が判明「快復に努めます」” (https://www.oricon.co.jp/news/2159465/full/). ORICON NEWS. (2020年4月8日) 2020年4月8日閲覧。
3. ^ “ＳＵＰＥＲ　ＢＥＡＶＥＲ、藤原広明が新型コロナに感染” (https://www.sanspo.com/geino/news/20200408/geo20040815350030-n1.html). SANSPO.COM. (2020年4月8日) 2020年4月8日閲覧。
4. ^ シャンソン歌手の高木椋太さん　新型コロナで死去 (https://www.sponichi.co.jp/entertainment/news/2020/05/05/kiji/20200505s0004100088000c.html) - Sponichi Annex 2020年5月5日
5. ^ “「この病気は怖い...」 妹2人を亡くし遺族が語る「恐怖と悲しみ」” (https://www.fnn.jp/articles/-/39861). FNN PRIME online. (2020年5月7日) 2020年5月8日閲覧。

6. ^ “和太鼓集団「DRUM　TAO」はメンバー5人コロナ感染　クラスター扱いとなる見通し” (https://www.sponichi.co.jp/entertainment/news/2020/04/09/kiji/20200408s00041000454000c.html). Sponichi Annex. (2020年4月9日) 2020年4月9日閲覧。
7. ^ “毎日放送取締役・岡田公伸氏　心筋症のため死去　60歳” (https://www.sponichi.co.jp/entertainment/news/2020/04/09/kiji/20200409s00041000295000c.html). Sponichi Annex. (2020年4月9日) 2020年4月9日閲覧。
8. ^ テレ朝「報道ステーション」富川悠太アナ、新型コロナ「陽性」…放送態勢に影響必至 (https://www.sponichi.co.jp/entertainment/news/2020/04/11/kiji/20200411s00041000393000c.html) - Sponichi Annex. (2020年4月11日) 2020年4月11日閲覧。
9. ^ "赤江珠緒もコロナ感染発表「親が共倒れ」不安現実に" (https://www.nikkansports.com/entertainment/news/202004180000232.html). 日刊スポーツ. (2020年4月18日) 2020年4月18日閲覧。
0. ^ 元NHK住吉美紀アナ　新型コロナ陽性　入院治療に専念「1日も早い回復を目指し」19日に肺炎で緊急入院 (https://www.sponichi.co.jp/entertainment/news/2020/04/22/kiji/20200420s00041000038000c.html) - Sponichi Annex 2020年4月22日
1. ^ “金沢市議が感染　けがで救急搬送、CTで肺炎判明し検査　感染経路は不明” (https://mainichi.jp/articles/20200404/k00/00m/040/192000c). 毎日新聞. (2020年4月4日) 2020年4月5日閲覧。
2. ^ “感染の金沢市議、自宅療養中にパチンコ　休業要請解除前” (https://www.asahi.com/articles/ASN5N772YN5NPISC01W.html). 朝日新聞. (2020年5月21日) 2020年5月26日閲覧。
3. ^ “外務省領事局長が新型コロナ陽性” (https://www.nikkei.com/article/DGXMZO57934010Q0A410C2PP8000/). 日本経済新聞. (2020年4月10日) 2020年5月11日閲覧。
4. ^ 元首相補佐官、岡本行夫氏が死去　新型コロナに感染 (https://www.tokyo-np.co.jp/s/article/2020050701001789.html) 東京新聞、2020年5月7日
5. ^ 東京都、島しょ部で初のコロナ感染者　御蔵島村の議長 (https://www.asahi.com/articles/ASN59663XN59UTIL00T.html) 朝日新聞、2020年5月9日
6. ^ “日華化学社長が新型コロナ感染　本社半数超が在宅勤務へ” (https://r.nikkei.com/article/DGXMZO57024340Z10C20A3LB0000?s=0). 日本経済新聞. (2020年3月19日) 2020年5月26日閲覧。
7. ^ “日華化学社長、新型コロナ感染から復帰” (https://www.nikkei.com/article/DGXMZO58456580U0A420C2LB0000/). 日本経済新聞. (2020年4月24日) 2020年5月2日閲覧。
8. ^ “これで「軽症」と言うのか。新型コロナ感染で入院中、渡辺一誠さんの手記” (https://www.jiji.com/jc/article?k=2020040700024&g=eco). *Forbes JAPAN*. (2020年4月1日) 2020年4月24日閲覧。

9. ^ “オムロン元社長が感染　新型コロナ” (https://www.jiji.com/jc/article?k=2020040700024&g=eco). 時事ドットコム. (2020年4月6日) 2020年4月6日閲覧。
0. ^ 立石義雄氏が死去　オムロン名誉顧問 (https://www.nikkei.com/article/DGXMZO58292940R20C20A4I00000/) ^ 日本経済新聞 2020年4月21日
1. ^ 凸版の金子会長、新型コロナ感染 (https://www.jiji.com/jc/article?k=2020041000015&g=eco) - 時事ドットコム 2020年4月10日
2. ^ “新型コロナウイルス肺炎 体験記　～肺炎は老人の友～／【特別寄稿】国際医療福祉大学大学院教授　武藤正樹氏” (https://www.koureisha-jutaku.com/newspaper/synthesis/20200422_01_2/). 高齢者住宅新聞オンライン. (2020年4月20日) 2020年4月24日閲覧。

参考文献

- 国立感染症研究所「病原体検出マニュアル　2019n-CoV Ver2.7 (https://www.niid.go.jp/niid/images/lab-manual/2019-nCoV20200225.pdf)」 2020年2月25日

関連項目

- 肺炎
- 気道感染
- 新興感染症
- 輸入感染症
- コロナウイルス
- 2019新型コロナウイルス（SARS-CoV-2） - 病原体のウイルスについて解説。
- 新型コロナウイルス感染症（COVID-19） - 感染症について解説。
- 新型コロナウイルス感染症の世界的流行 - 感染症の流行現象についての概説。
  - 国・地域毎の2019年コロナウイルス感染症流行状況
  - 北海道における2019年コロナウイルス感染症の流行
  - 千葉県における2019年コロナウイルス感染症の流行
  - 東京都における2019年コロナウイルス感染症の流行

- 神奈川県における2019年コロナウイルス感染症の流行
- 富山県における2019年コロナウイルス感染症の流行
- 福井県における2019年コロナウイルス感染症の流行
- 岐阜県における2019年コロナウイルス感染症の流行
- 愛知県における2019年コロナウイルス感染症の流行
- 三重県における2019年コロナウイルス感染症の流行
- 大阪府における2019年コロナウイルス感染症の流行
- 福岡県における2019年コロナウイルス感染症の流行
- クルーズ客船における2019年コロナウイルス感染症の流行状況

- 2019年コロナウイルス感染症流行に対する世界保健機関の対応
- 2019年コロナウイルス感染症の流行に対する日本の行政の対応
- 2019年コロナウイルス感染症流行による外出制限・封鎖
- 2019年コロナウイルス感染症による社会・経済的影響
  - 日本における2019年コロナウイルス感染症による社会・経済的影響
  - 新型インフルエンザ等対策特別措置法に基づく休業
  - 2020年の株価大暴落
- 重症急性呼吸器症候群（SARS）
- 中東呼吸器症候群（MERS）
  - 2015年韓国におけるMERSの流行
- 2009年新型インフルエンザの世界的流行
- コロナ疎開
- 自粛警察

外部リンク

- 特設サイト 新型コロナウイルス (https://www3.nhk.or.jp/news/special/coronavirus/) - NHK NEWS WEB
- 新型コロナウイルス感染症に備えて (http://www.kantei.go.jp/jp/headline/kansensho/coronavirus.html) - 首相官邸
- 新型コロナウイルス感染症対策 (https://corona.go.jp/) - 内閣官房
- 新型コロナウイルス感染症について (https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164708_00001.html) - 厚生労働省
- 新型コロナウイルス感染症について (https://www.maff.go.jp/j/saigai/n_coronavirus/) - 農林水産省
- 新型コロナウイルス感染症関連 (https://www.meti.go.jp/covid-19/) - 経済産業省
- 新型コロナウイルスに関連した感染症対策に関する対応について (https://www.mext.go.jp/a_menu/coronavirus/) - 文部科学省
- 新型コロナウイルスに関連した感染症対策 (http://www.env.go.jp/saigai/novel_coronavirus_2020.html) - 環境省
- 新型コロナウイルス感染症対策関連 (https://www.soumu.go.jp/menu_seisaku/gyoumukanri_sonota/covid-19/index.html) - 総務省
- 新型コロナウイルス（COVID-19）関連情報について (https://www.niid.go.jp/niid/ja/diseases/ka/corona-virus/2019-ncov/9324-2019-ncov.html) - 国立感染症研究所
- 新型コロナウイルス感染症（COVID-19）WHO公式情報特設ページ (https://extranet.who.int/kobe_centre/ja/news/COVID19_specialpage)**（日本語）** - WHO神戸センター
- 新型コロナウイルス感染症 (http://www.med.or.jp/doctor/kansen/novel_corona/009082.html) - 日本医師会
- 新型コロナウイルス感染症 (http://www.kansensho.or.jp/modules/topics/index.php?content_id=31) - 日本感染症学会
- 新型コロナウイルス感染症（COVID-19）への対応について (http://www.kankyokansen.org/modules/news/index.php?content_id=328) - 日本環境感染学会
- 新型コロナウイルス関連情報特設サイト (https://jeaweb.jp/covid/) - 日本疫学会
- 新型コロナウィルス関連情報特設サイト (https://www.jsph.jp/covid/) - 日本公衆衛生学会
- 都道府県別新型コロナウイルス感染者数マップ (https://gis.jag-japan.com/covid19jp) - ジャッグジャパン株式会社
- 新型コロナウイルス 国内感染の状況 (https://toyokeizai.net/sp/visual/tko/covid19/) - 東洋経済新報社
- COVID-19 Japan 新型コロナウイルス対策ダッシュボード (https://www.stopcovid19.jp/) - オープンソース（福野泰介による）

「https://ja.wikipedia.org/w/index.php?title=日本における2019年コロナウイルス感染症の流行状況&oldid=77808102」から取得

最終更新 2020年5月31日 (日) 15:27 （日時は個人設定で未設定ならばUTC）。

テキストはクリエイティブ・コモンズ 表示-継承ライセンスの下で利用可能です。追加の条件が適用される場合があります。詳細は利用規約を参照してください。